

14.5-779



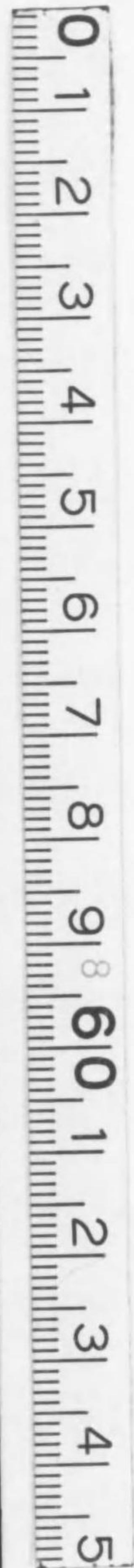
1200501526984

714

兵庫縣西女實

兵庫県発行

昭和十三年刊



始

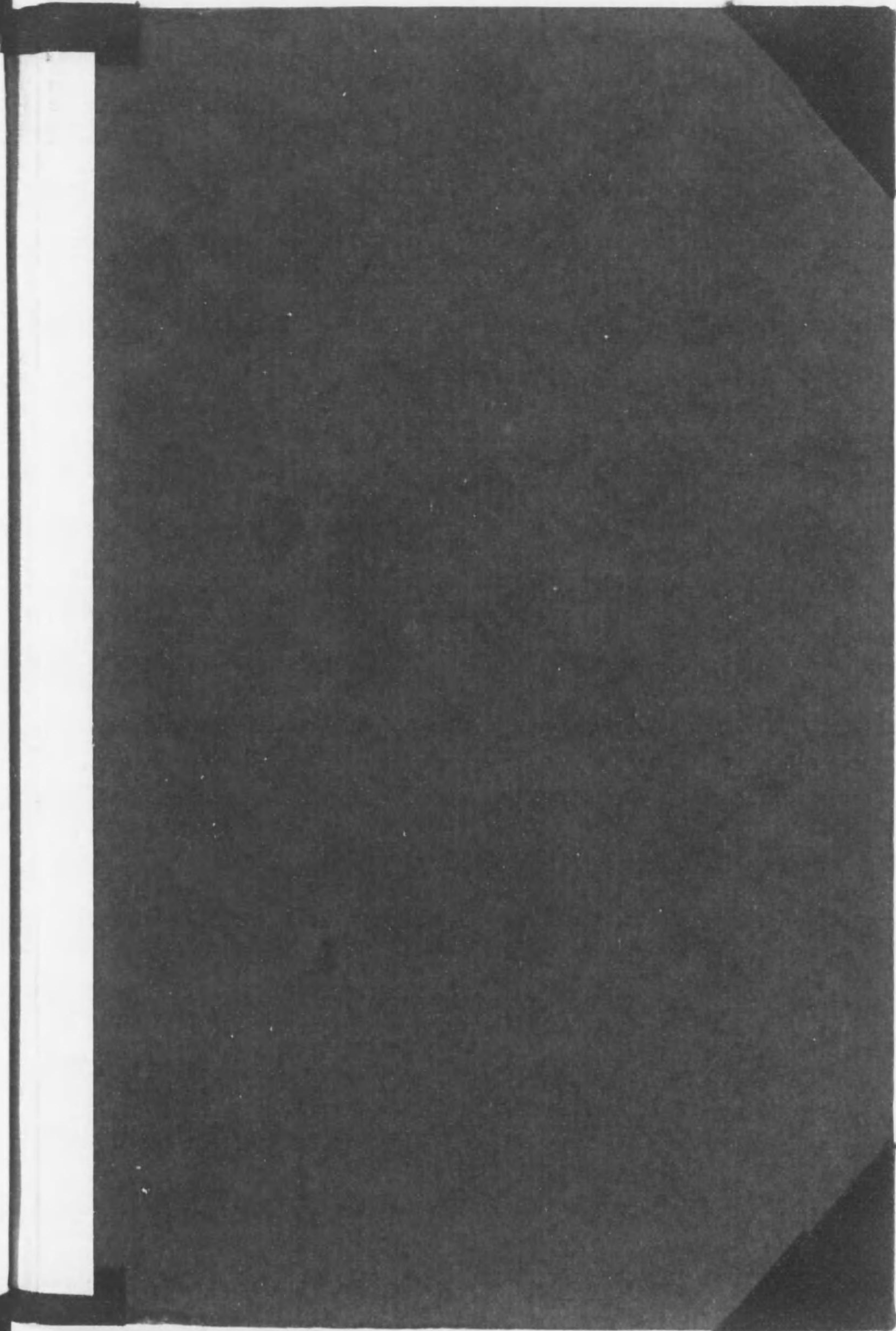


14.5

779

兵庫縣要覽

昭和十三年刊





14.5
779



昭和十三年四月

はしがき

本要覽は本縣々勢の概要を編録したものである。
本要覽の資料は出來得る限り最近のものを採録するに
努めたが之に據り難いものは兩三年前のものを採用
した。

兵 庫 縣



兵庫縣要覽

昭和十三年刊

口 繪

伊弉諾神社

兵庫縣廳

兵庫縣鳥瞰圖

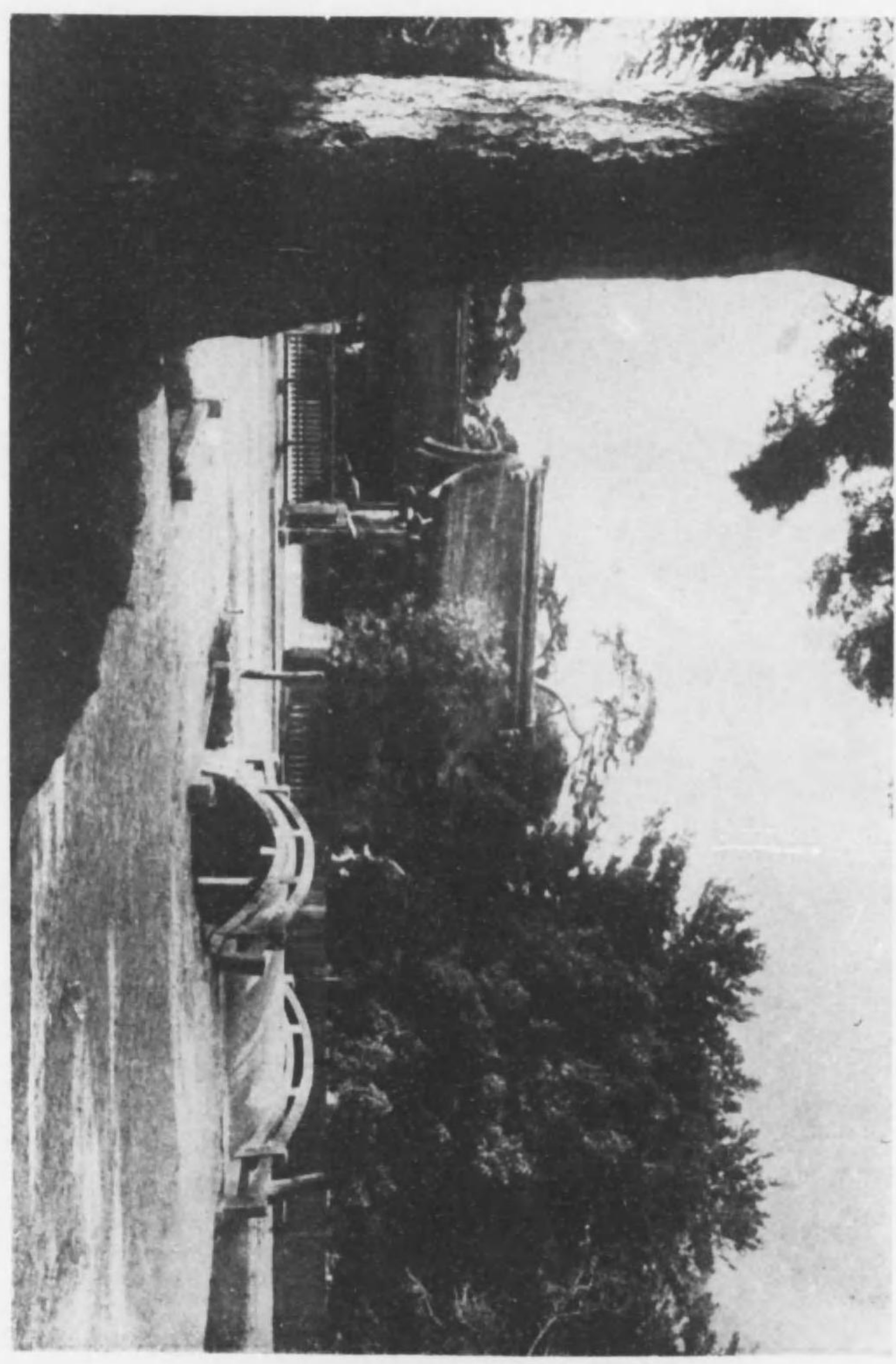
目 次

第一	沿革	一
第二	管轄區域	四
第三	地勢	五
第四	氣候	七
第五	人口	八
第六	產業	一〇
一	農業	一一
二	工業	二三

三	商	業	三二
四	水	産	三五
五	産	業	三八
第七	交	通	三九
第八	教	育	四〇
第九	社	寺・教會	四五
第十	社	會	四六
第十一	財	政	五〇

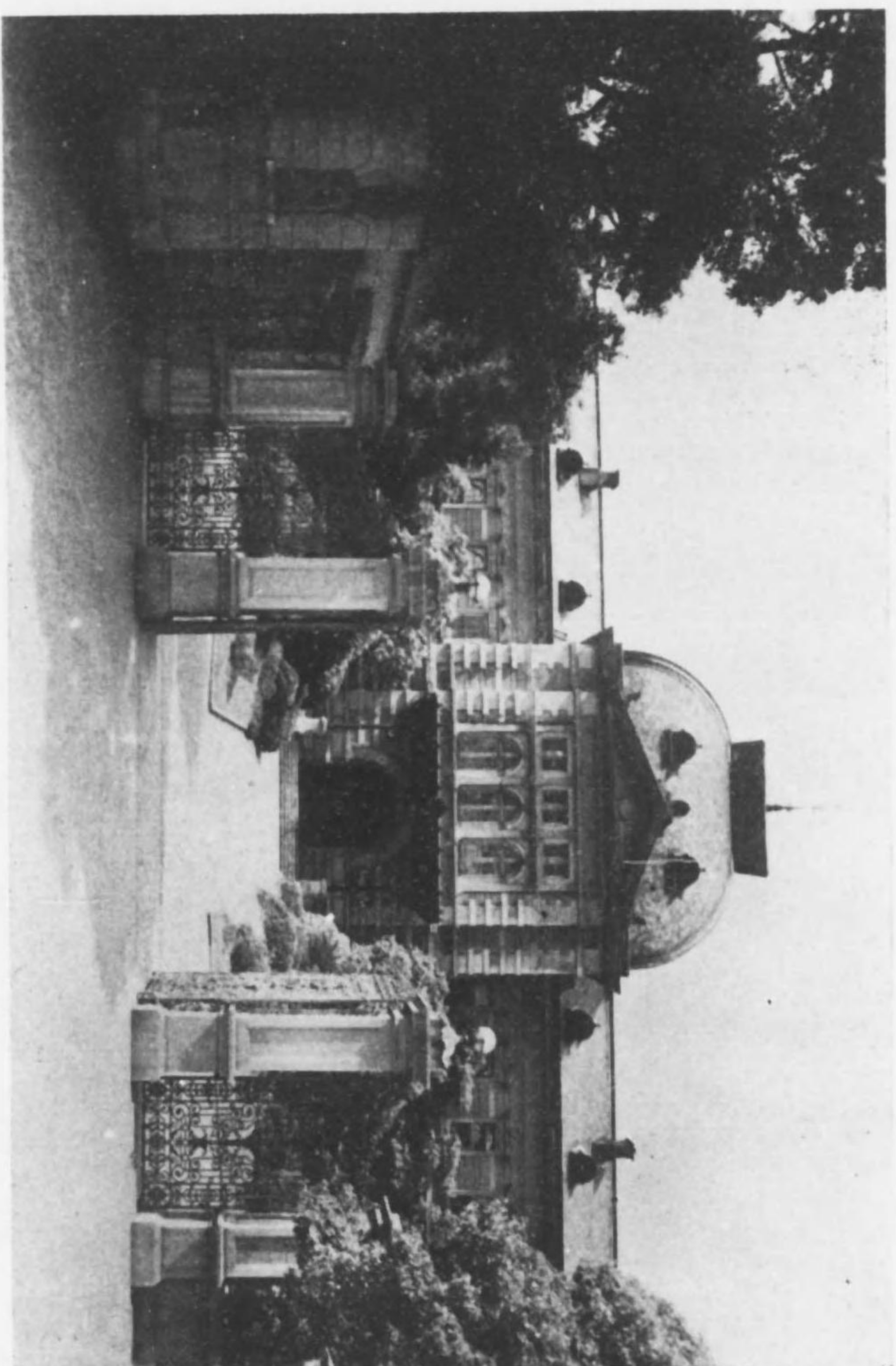
(附 録)

観光の兵庫縣



伊 弉 諾 神 社

兵 庫 車 庫 圖



兵庫縣要覽

昭和十三年刊

第一沿革

本縣は攝津(一部)、播磨、但馬、丹波(一部)、淡路の五箇國に跨つてゐるので其の沿革も複雑多岐に亘つてゐる。

古事記神代卷の淡能基呂島(淡路内と稱せられる)は皇國發祥の聖地として、現に津名郡多賀村には官幣大社伊弉諾神社が鎮座しますが世人の周知する所である。上代に在つては文献の徴すべきものが少いので明確な史實を知ることが出来ないが、今日縣内諸所に存在する古墳古塚等に依つて見るも、古くから文化發達の相當顯著なものがあつたことは想像するに難くない。奈良朝から平安朝にかけては當時建立された寺院佛閣や國府の遺蹟等の外播磨風土記を始め古記録の現存するものも少くないので稍詳細に知ることが出来る。

鎌倉時代以降徳川氏の江戸開幕に至るまでは地域が京畿に近い關係上一時は福原の遷都となり、兵庫は皇城の地となつたこともあるが、始終兵亂の渦中に投ぜられ、其の都度守護領主等も幾度か代つた。

江戸時代になつてからは所謂天下泰平で兵火の禍を蒙るやうなことは殆どなくなつたが、藩主の更迭等

は可なり頻繁に行はれた。而して明治維新當時に於ける本縣地域内の各藩を擧ぐれば、攝津の尼崎（櫻井氏四萬石）、三田（九鬼氏三萬六千石）、播磨の姫路（酒井氏十五萬石）、明石（松平氏八萬石）、龍野（脇坂氏五萬一千石）、赤穂（森氏二萬石）、三日月（森氏一萬石）、山崎（本多氏一萬石）、安志（小笠原氏一萬石）、林田（建部氏一萬石）、小野（一柳氏一萬石）、福本（池田氏一萬石）、三草（丹羽氏一萬石）、但馬の出石（仙石氏三萬石）、豊岡（京極氏一萬五千石）、村岡（山名氏一萬一千石）、丹波の篠山（青山氏六萬石）、柏原（織田氏二萬石）等で都合十八藩の外諸所に皇室領、幕府領、旗本領等が散在してゐた。又淡路は徳島藩蜂須賀氏の所領で其の家老稲田氏が洲本に居た。明治四年是等の藩は凡て廢せられ新に兵庫、姫路、飾磨、豊岡の諸縣が置かれ、淡路は名東縣に屬したが、明治九年に至り之等の諸縣は悉く廢せられ兵庫縣に統一されることゝなつた。

是より先明治元年二月兵庫切戸町元勤番所に兵庫裁判所開設され國內事務を取扱ひ、別に神戸町會所に外國掛を置かれて専ら外國事務を取扱つたのであるが、同年五月伊藤俊介（博文）が外國官判事から轉じて初代の兵庫縣知事となるに及んで内外の事務を統轄することゝなり、爾來今日に至るまで二十五代の知事が在任した。

就任年月	官名	氏名
明治元年五月	縣知事	伊藤俊介（博文）

歴代長官

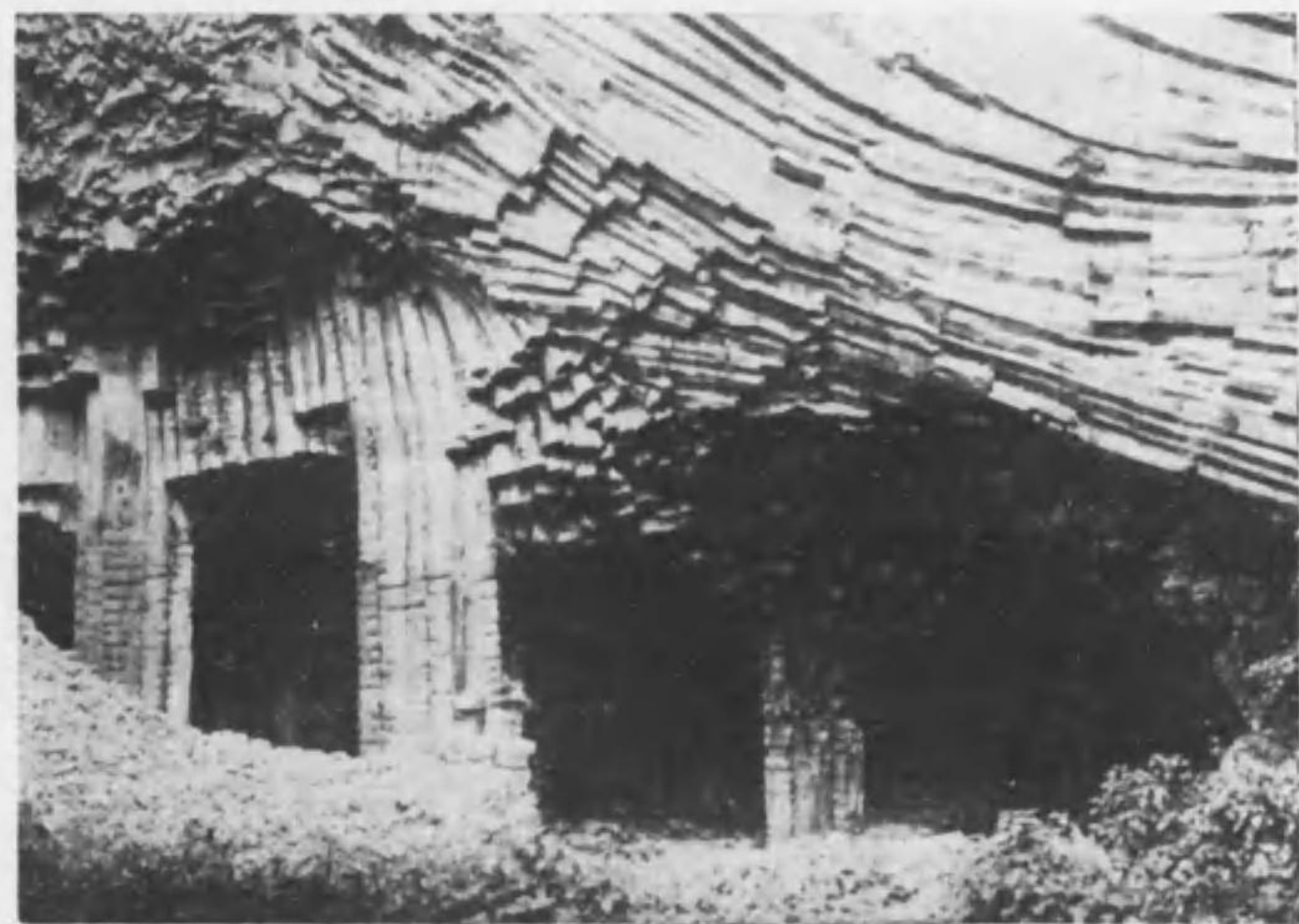
就任年月	官名	氏名
同 二年四月	同	久我維磨
同 同年五月	同	中島錫胤
同 同年六月	同	陸奥陽之助（宗光）
同 同年八月	同	税所長藏（篤）
同 同年十月	同	中山信彬
同 四年十一月	同	神田孝平
同 九年九月	同	森岡昌純
同 十八年四月	同	内海忠勝
同 二十二年十二月	同	林布公董
同 二十四年六月	同	周布公平
同 三十年四月	同	大森鐘一
同 三十三年十月	同	服部一三
大正 五年四月	同	清野長太郎
同 八年四月	同	有吉忠一
同 十一年六月	同	折原巳一郎
同 十二年十月	同	平塚廣義
同 十四年九月	同	山縣治郎

第一 沿革

は海拔千五百米本縣第一の高山たる氷の山を初め鉢伏、妙見、床尾、須留ヶ峯、粟鹿等の高山聳立して此の邊一帶に冬期山嶽スキーの好適地をなしてゐる。此の他丹波に三國山、彌十郎山等あり、又淡路の先山は皇國發祥の名山として知られ、海拔四百五十米、島内の最高峰である。

河川 神崎、加古、市、夢前、揖保、千種の諸川は攝津、播磨の沃野を縫うて蜿蜒十數里、大阪、播磨の兩灣に注いでゐる。圓山、竹野、佐津、矢田、岸田等の諸川は北流して日本海に注ぎ、其中圓山川のみ舟楫の便あり、延長十七里に及んでゐる。

港灣 海岸線は日本海及瀬戸内海に亘つて四百軒の長きに及んでゐる。日本海は概して風波高く良港に恵まれず、僅に津居山、香住、諸寄を數へるのみである。これに反し内海方面には日々多數の大船巨舶を吞吐する神戸港を初めとし、東には西宮、尼崎、西には明石、飾磨、



玄武洞

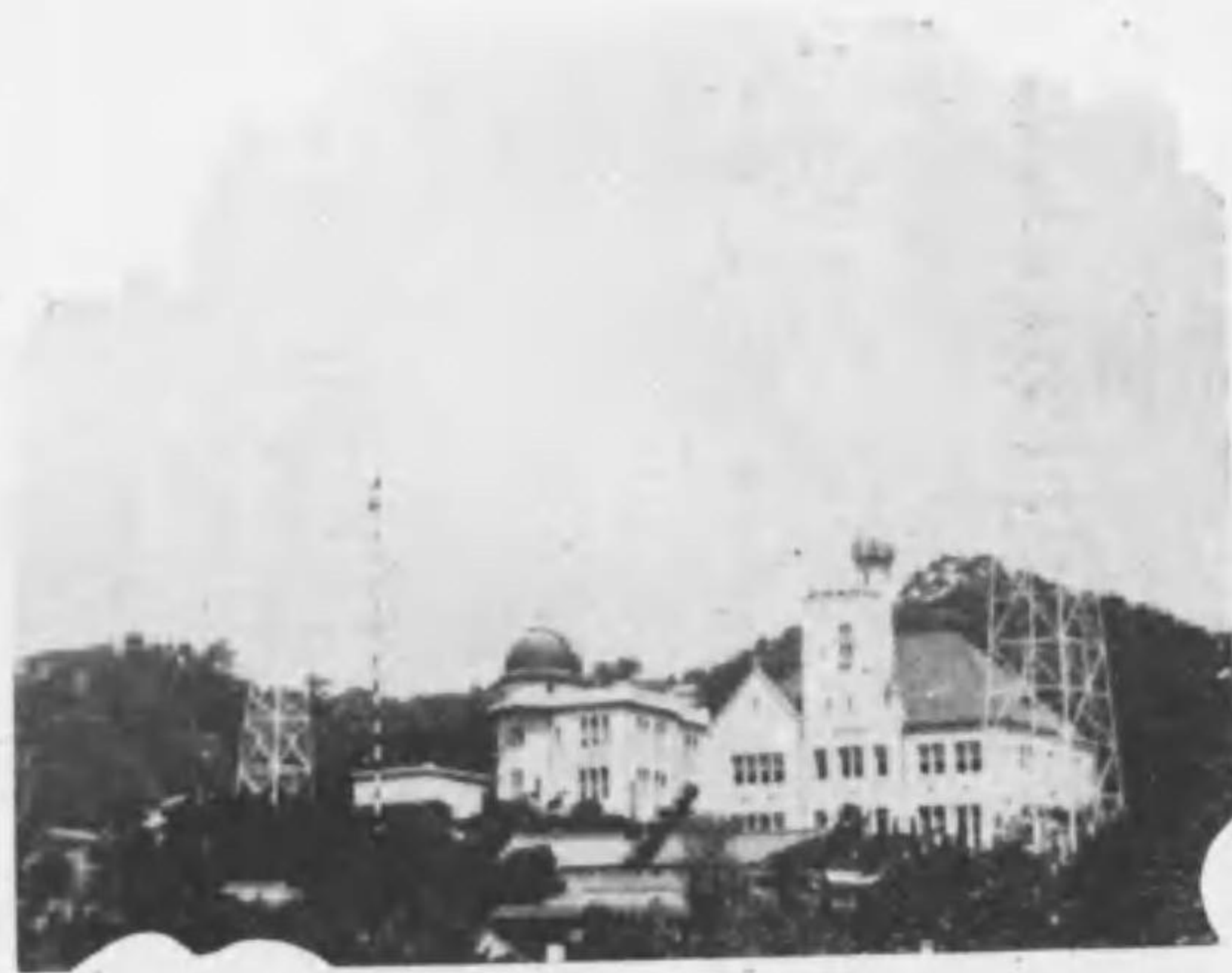
相生等知名の良港が竝んでゐる。淡路には洲本を始め由良、福良、岩屋等の諸港がある。

地質

六甲山から淡路の北半にかけては花崗岩が發達し、播磨、攝津の中央部から但馬の南部にかけて安山岩及石英粗面岩等が分布してゐる。但馬北部には玄武岩擴がり、城崎玄武洞の奇觀は夙に世に知られてゐる。水成岩の太古層は淡路の沼島に限られ、丹波、播磨の中央部及南但は秩父古生層が介在してゐる。淡路の南部及丹波、篠山附近は中生層が分布し、播磨の東部は第三紀層の大區域である。土質は壤土を雜へて地味膏沃五穀はよく豐熟する。

第四氣候

全縣を通じては氣候概ね溫暖、平均溫度は攝氏十四、五度、降雨も比較的多量で、豐饒なる土地と共に最も植物の成育に適してゐる。併し日本海と瀬戸内海の兩面に跨る關係上南北の氣候には大なる差異があつて、風土、産物にも少からぬ影響を及ぼしてゐる。即ち但馬、丹波、北播地方は南部に比し平均溫度や、低く攝氏十四度程度であり降雨



海 洋 氣 象 臺

量も南部よりは多く大體千耗乃至二千耗に達し養蠶業、林業に適してゐる。併し冬期にあつては但馬地方は裏日本一帯の例に洩れず降雪物凄く例年農作物の被害甚だしいものがある。之に反して南部は極めて温暖で北部に比して平均一度餘高く夏は三伏の炎暑も南東の微風によつて實に住心地よい樂土をなしてゐる。降雨量は北部より却つて少く八百耗乃至千五百耗で土地比較的乾燥し米麥果樹の栽培に適し樹木の如きも松樹の繁殖極めて多い。

第五 人口

昭和十年國勢調査に依る本縣總人口は二百九十二萬三千二百四十九人で世帯數は六十一萬一千百三十、一世帯平均四・八人弱に當る。本縣人口は東京府(約六百三十六萬人)、大阪府(約四百二十九萬人)、北海道(約三百萬人)に次いで全國第四位を占め、人口密度は一方耗に付三百五十一人で全國人口密度百八十一人より遙に高く全國第九位にある。而して本縣人口の趨勢を観ると、大正十四年から昭和五年までは約十九萬人を、昭和五年から昭和十年までは約二十七萬人を増加して年々加速度的な増加振りを示し、第三回國勢調査の昭和十年を第一回の大正九年に比較すると實に六十二萬一千人(二七%)の激増である。殊に阪神間は全國的に著名なる新興地域として人口の集中目覺ましく、前回調査に對する増加率は本縣人口増加數の九〇%を占めてゐる。

市部の人口は我國第一の貿易港たる神戸市を包有し、總人口の四四%を占めてゐる。神戸市は人口九十一萬二千七百七十九人、全國百二十七都市中東京、大阪、名古屋、京都に次いで第五位にある。神戸市に次ぐものに工業都市尼崎市の十二萬五千五百五十一人、第十師團司令部所在地たる姫路市の十萬千七百八十六人、西宮をびすと灘の銘酒に名高い西宮市の八萬九千九百九十九人、風光秀麗觀光の地明石市の四萬二千六百四十四人がある。各市とも昭和五年國勢調査に比して目覺しい増加を示してゐる。

郡部の人口は總人口の五六%に當つてゐるが、輾近人口都市集中の傾向に伴ひ都市近接地域を除いては増加率極めて低く、飾磨、城崎、氷上、三原、神崎、宍粟、養父、多紀、美方、有馬各郡の如きは却つて前回調査より減少を來してゐる。

人口動態

出生 昭和十一年に於ける現住人の出生は七萬九千五百十三人で人口千に對する割合は二六・五二人、全國平均二九・九二人に遙に及ばない。

死産 昭和十一年に於ける死産は五千六十一人で人口千に對する割合は一・七〇人で全國平均一・五八人より稍多い。

死亡 昭和十一年に於ける現住人の死亡は五萬三千三十七人で人口千に對する割合は一六・八九人、全國平均一七・五一人より稍少い。

自然増加 昭和十一年の本縣に於ける死亡に對する出生の差増は二萬八千七百十六人で、人口千に付九・六三人の増加を示し、其の増加率は全國平均一・二・四一人より遙に低い。

婚姻・離婚 昭和十一年に於ける本縣現住人の婚姻は二萬千八百八十八件で人口千に付七・三四件に當る。又離婚は一千七百十九件で千に付〇・五八件で共に全國平均より稍低位にある。

第六 産 業

本縣は温暖なる氣候、適當なる雨量、豐饒なる土地等自然的條件に恵まれるところ多く、且人口は著しく増加して本邦屈指の密度を示し、交通又四通八達して經濟發達の條件よく備はり、農工商の産業活動は實に隆々たるものがある。昭和十年の生産總額は十一億九千八百萬圓の巨額に達し、大阪、東京、愛知に次いで全國第四位を占め、一世帯當りの生産額は一千九百六十一圓、一人當り生産額は四百十圓に當り、夫々全國の第三、第四位を占め、以上の府縣と共に産業日本に於ける支配的地位を築くに至つた。而して農業にあつては古くより牧牛と耕種に於て知られたるところであるが、更に工業にあつては近年纖維工業、重工業、化學工業を通じて物凄い發達を示し、その生産額は膨大なるものである。更に本縣には他に見られない幾多の特殊工業が發達して本縣工業に一段と輝しさを添へてゐる。農工業に於けるかゝる生産活動の旺盛は延いて商業にも目覺しい發展の路を拓き多くの大商業都市を形成し、殊に世界屈指の貿易港たる

神戸港を擁して内外貨物の集散著しく本邦商業の中樞をなし其の殷賑は他に比類ないところである。

一 農 業

本縣の北部は日本海に面し氣候稍寒冷なるも雨雪多く樹木牧草よく繁茂して養蠶、牧畜に適し、南部は瀬戸内海に面して氣候温暖、且其の降雨と土質は耕作に適して夙に耕種農業の發達せるところであるが、近年商工業の隆盛に伴ふ阪神諸都市の發展は縣内の人口を之等の地帯に吸収し、殊に中部以北の農村人口を減少せしめる傾向著しく、反面に於ては各種農産物の需要を激増して従來の米麥作の外に蔬菜、花卉、乳肉等の生産を増加せしめ以て本縣南部地方に於ける經營の集約度を高めるに至つた、其の他縣内の農業が是等諸都市と其の商工業の發達に依つて受ける明暗兩様の影響は複雑にして深刻である。更に先年の農業恐慌に際し本縣農業も亦深刻なる打撃を被つたのであるが、爾來官民一致して之が更生策に善處し、農産總額の如きも昭和十一年には一億圓に達し、其の他農業の各部に亘つて着々不況克服の實を擧げるに至つた。

農家戸數 昭和十一年末に於ける本縣の農家總戸數は十七萬九千三百六十三戸で本縣全戸數の二割九分を占め、廣島縣に次いで全國第八位である。其の内六割五分、十一萬六千九百四十二戸は專業農家であり、三割五分、六萬二千四百二十一戸は他の産業又は職業を併せ營む兼業農家である。而して農家は農業經營主體の中心をなすものであり、農業會社の如きは僅かに五十社（その公稱資本金又は出資額は約千百十

二萬圓)に過ぎない。此の農家戸数は昭和五年以來明かに減少の傾向を示し我國に於ける一般傾向と稍趣を異にするものがある。

耕地面積 田及畑を含む耕地總面積は本縣全土の約三割を占め、昭和十一年末に於ては十二萬九千九百九十四町歩となり靜岡縣に次いで全國の第十九位である。其の内、田は耕地總面積の八割三分、十萬七千九百餘町歩を占め、概して本縣の中部以南及丹波地方に多く、但馬地方に少い。畑は耕地總面積の一割七分、約二萬二千餘町歩で主として本縣北部但馬地方の山間に拓けてゐる。而して本縣に於ては開墾、埋立、開拓、荒地復舊等耕地の開拓を奨励し年々數百町歩の増加を見る反面に於て、但馬地方には災害屢々到り、又南部の海岸地方、殊に阪神諸都市の膨脹と商工業の發達に伴ひ住宅、工場、道路等の用地に轉換せらるゝもの多い結果耕地の潰廢著しい。而して昭和十一年に於ける耕地の増加面積は百十四町歩であつた。

自作と小作 本縣に於ける自作農家と小作農家とは其の戸數略匹敵し、昭和十一年末の調査に依れば、自作農家四萬八千餘戸で農家全戸數の二割七分に當り、小作農家は五萬二千餘戸で二割九分強を占め、自作兼小作農家は七萬八千餘戸で農家全戸數の四割四分に及んでゐる。此の内、自作農家は輕微ながら逐年増加を示したが昭和十年に至り減少の傾向を示し、小作農家の戸數亦逐年減少の傾向にあり、而して自作兼小作農家の戸數は一時的に増加を示したが、近年には大なる變化を認めることが出來ない。次に耕地に就て之を観るに、自作農地と小作農地は相半し、昭和十一年末には自作農地六萬六千餘町歩に對し小作農

地約六萬三千町歩であるが、後者は逐年減少せるに反し、自作農地は大體現状維持の状態である。而して昭和十一年中の小作爭議は百三十六件其の内小作料に關するもの六十四件である之等は郡部農業地帯に發生し豊凶の如何、災害の有無に必ずしも依らない。之に反して阪神間及之に準する市街地近接地方は土地返還を原因とするもの多く六十七件に及び、商工業と都市の膨脹に伴ふものである。本縣としては自作農創設、爭議の調停に努むる外本縣地主小作人協調組合の設置奨励を行つて居る。

經營の規模 本縣農業の經營は概して小なるもの多く、昭和十一年末の調査に依れば、耕作面積一町歩未滿の過小農が農家總數の八割三分を占めて約十四萬九千七百戸であり、一町歩乃至二町歩の小經營は農家總數の一割五分で約二萬七千六百戸、二町以上五町歩未滿のものは僅に農家總數の一分で一千九百餘戸に過ぎず、五町歩以上の耕地を經營するものは數ふるに足りない。而して五反未滿の過小農及二町歩以上の耕作農家戸數は逐年減少の傾向を示し、五反以上二町未滿の耕作農家戸數は稍増加の傾向にあるも殆ど大なる變化を認めることが出來ない。又本縣畜産の王者たる牛の飼育戸數は九萬三千四百六十七戸(昭和十一年末)であるが、其の約九割二分、八萬五千餘戸は一頭を飼育するものであり、二頭を飼育するものは飼育總戸數の約七分で六千餘戸、三頭を飼育するものは僅に八百八十餘戸、四頭以上を飼育するものは五百九十餘戸に過ぎない。その他養蠶、養鶏等に於ても大體同様であり、何れも其の大部が小規模且集約的な耕種農の傍ら副業として經營せらるゝものである。

産業組合 産業組合の活動と其の効果は農林漁業の全般に亘つて顯著なるものであるが、殊に農業部

門に於ては其の金融を初め農産原料の購入、農産物の加工、製造、販賣等縣内農業の發達に寄與する所尠くない。昭和十一年末に於ける組合數は五百三、出資總額は千八百六十三萬圓にして、何れも愛知、長野の兩縣に次いで全國第三位であるが、其の積立金總額は八百七萬圓に達して全國第一で堅實なる基礎を示してゐる。而して組合數は減少の傾向にあるが、其れは從來部落單位であつたものを町村單位の組合に統一して其の機能を圓滑ならしめんとする統一獎勵の結果であり之が爲に組合の活動は一層強化せらるゝに至つた。即ち信用方面に於ては其の組合員二十萬人（昭和十一年間の）預金高九千九十五萬圓、貸付金額五千九百十四萬圓となつて共に全國第一位であり、又組合を通じて販賣せられた農産物其他は千二百八十七萬圓、購入品總額は九百二十八萬圓（何れも昭和十一年間）に上り近年著しく増加の傾向にある。

農産物 耕地の減少にも拘らず農産物の種類と數量は年

と共に増加し其の品質は何れも著しく改良せらるゝに至つた。之は本縣が自然的、社會的、並に經濟的條件に於て恵まるゝ所大なる以外に縣、農事試験場、農會等の指導啓發と農民各自の努力に依る經營及技術の



縣立農事試驗場

改善進歩に負ふ所も亦極めて大なるものあるは云ふまでもない、かくて昭和十一年の農産總額は一億二千四百四十二萬餘圓となり、農産總額の八割二分、一億二百六十萬圓は耕種農産物であり殘餘の一割八分、二千八百八十二萬圓は養蠶及畜産物である。以下是等の代表的なものに就て述べることにする。

米は穀類産額の八割以上を占め昭和十二年の作付面積は約十萬一千町歩、其の産額は百九十萬石（宮城に次いで全國第十位）六千五百二十二萬圓である。本縣の米は良質なれば古來酒米として名あり、清酒の原料として縣内に於て消費せられる外縣外に移出せられるものも尠くない。産額の減少せるは九月十一日に於ける大暴風雨によるものにして前五箇年平均に比し四十餘萬石の大減收である。既述の如き原因に依る水田の減少漸く顯著なる爲めその産額は近年豊凶の差異に因るの外略現状維持の状態である。次に麥類の産額は九十四萬石其の價額一千八百六十一萬圓（昭和十二年）にして、小麥が其の大半を占め四十五萬石、一千三十八萬圓に上り、近時製粉業の發達と共にその進出目覺ましく作付面積（二萬九千町歩）は最近十年間に約倍加するに至つた。稈麥は作付面積二萬三千町歩其の産額四十一萬石、七百四十一萬圓にして麥類産額の四割四分に當るのであるが年々減少の傾向著しく、大麥に至つては作付面積四千町歩、産額僅に七萬石、八十一萬圓に過ぎない。縣内に於ける米麥の産地は大體田畑の分布に伴ふものであるから之が再記を省略する。

蔬菜類の産額は七百五十三萬圓（以下何れも昭和十一年）作付面積一萬二千四百町歩、其の栽培は阪神明姫の大消費地に續く本縣南部の各地に於て近年益々増加する傾向にある。中にも西瓜（八百町歩、五百

三十萬貫、九十萬圓、全國第六位) 大根(三千町歩、一千八百十四萬貫、百七萬圓、全國第九位)の如きは既に大成の域に入り、目下隆々たるものには茄(六百町歩、三百八十三萬貫、六十四萬圓) 胡瓜(三百町歩、百六十七萬貫、二十九萬圓) トマト(二百町歩、百五十二萬貫、三十一萬圓) 漬菜(八百町歩、三百七十萬貫、三十四萬圓) の外、(四百町歩、百十二萬貫、三十六萬圓) を初め蒔草、葱、佛掌薯、里芋等がある。



メロンの栽培

果實類の生産は他府縣に較べて盛んとは云へない。併し昭和十一年には百二十二萬餘圓の收穫を挙げ、柿(百四十三萬貫、三十五萬圓)の如く全管内に亘るものもあれば淡路の枇杷(二十五萬貫、十七萬圓) 鳴戸蜜柑(百餘萬貫、二十餘萬圓) 葡萄(四十二萬貫、十二萬圓) 淡路、川邊及飾磨郡等、桃(二十八萬貫、八萬圓) 無花果(二十二萬貫、七萬圓) 川邊、明石郡等の如く地方的な名物も少くない。

觀賞植物の生産は都市の發展に伴ひ著しく増加の傾向にあり、其の産額は約七十萬圓である(昭和十一年)之を五年前に比較すれば六割七分の激増である。其の主なるものは庭園樹で總生産額の四割(三十

萬圓)を占め、切花二十萬圓、鉢花四萬六千圓、盆栽十萬圓等であり、川邊の觀賞植物は歴史も古く最も出色してゐるが、津名郡を初め暖地に於ける切花の栽培急激に發達し、近時は有馬、美囊、武庫の冷涼地帯を利用する切花の栽培も注目せらるゝに至つた。

工藝用農産物は概して盛ではないが近畿區では第一位であり、其の主なるものは攝津、播州、丹波及淡路地方に産する葉煙草にして昭和十一年には一千四百町歩、百九十一萬冠、百九十八萬圓となり本縣工藝用農産物總價額の八割二分を占めてゐる。其の他但馬地方の杞柳(十五萬六千貫、十萬圓)は増産獎勵中である。綠肥作物の栽培は自給肥料の獎勵と農業恐慌の刺戟を受けて近年大いに増加し、昭和十一年には作付面積七千九百町歩其の收穫三千百萬貫に達するに至つた。其の主なるものは紫雲英(四千七百町歩、二千五百萬貫)と青刈大豆(二千四百町歩、四百七十萬貫)である。

繭 本縣の養蠶は但馬地方を中心とし丹波播磨之に次ぎ播津及淡路の一部にも及び、其の歴史は關西の諸縣中最も古く、其の後次第に發達して全國の中位を占むるに至つた。而して近時繭價の低落依然たるため昭和十一年の産



桑園

繭總價額は六百七十二萬圓となり好調時代の夫れより半減の状態であるが、收繭高總額は百三十六萬貫で

大なる減收を認め難く之を十年前の收繭高に比較すれば寧ろ多少の増加を示してゐる。又同年に於ける蠶種製造高は二千九百四十三疋、五十萬圓で最近殆ど大なる變化を見せてゐない。而して養蠶農家三萬九千戸の自助機關としては郡を區域とする十八の養蠶業組合と町村又は部落を區域とする千二百餘の養蠶實行組合があり、又養蠶に關する特設機關としては蠶業試驗場、繭檢定所、蠶業取締所等の外縣立蠶業學校がある。

畜 産 畜産物産額は近年次第に増加し昭和十一年に於て約三千六百五十萬圓の産額を見て居る。而て其の内容は畜牛に依るもの(積、肉、乳等)二千四百七十萬圓、馬四百八十萬圓、豚百五十萬圓、家禽に依るもの五百五十六萬圓(肉、卵、鶏糞、緬、山羊等)一萬五千圓である。

由來本縣の北部殊に但馬地方の氣候風土は牧牛に適し且同地方特有の飼育觀念と技術は之と結んで夙に但馬牛を産み本邦最優の産牛地帯をなして居るが、近年は丹波、西播、淡路にも普及し昭和十一年末に於ける牛の總數は十萬六千餘頭、其の飼育戸數九萬三千餘戸に



縣立蠶業試驗場

達し鹿兒島と並んで我國第一である。而して有畜農業の獎勵と肉食の普及に因る需要の増加とは近年其の飼育數を著しく増加せしめ其の品質を一層向上せしむるに至つた。殊に但馬牛を素牛とする肥育牛は神戸肉として年々三萬餘頭數百萬圓の生産を上げ好評噴々たるものがある。又乳牛は淡路、攝津、播磨地方に多く(昭和十一年末現在七、〇〇〇頭餘)六十餘の酪農組合存し一日百二十石餘の牛乳を生産し、其の泌乳能力は定評あるところである。産牛に關する主なる施設としては縣種畜場、各郡市畜産組合、同聯合會存し、牛籍の統一、種牡牛の設置、種牝牛の貸付等品種改良に關する施設、飼育技術の指導、畜產品評會、家畜市場の開設、畜産集談會、顧客懇談會の開催等極めて廣汎である。

鶏の飼育戸數は九萬戸(以下何れも昭和十二年)にして、飼育羽數は百七十萬羽其の價額百二十六萬圓餘である。而して鶏卵の産額は一億一千百四十五萬餘箇、その價額二百八十五萬圓となり幾分減少の傾向である。かくて最近に於ける本縣の養鶏界は大體沈黙の状態であるが、農家の副業として猶重要なる地位を占むるものなるは云ふまでもない。之が主なる獎勵施設としては前記各種の畜産指導機關に依る品



但馬牛

種改良、飼育技術改善の外共同孵卵場三十箇所、共同育雛場八十箇所設置は昭和十二年度を以て完成し更に十三年度より共同孵卵場十箇所鶏卵共同處理所十箇所及共同育雛所三十箇所設置を目標とせる第二次十箇年増殖計畫がある。



縣 行 造 林

り黒松の植栽は南播及淡路地方に多い。かくて本縣林野の九割迄は立木地であるが、尙一割の無立木地があり、攝津、播磨、淡路の各地に見らるゝところである。

る。

林 業 林野は本縣全土の約七割を占め、昭和十一年の調

査に依れば其の面積四十五萬二千餘町歩である。而して南北兩岸に接する地方には黒松の單純林又は赤松との混淆林多く、其の間にカシ類の常綠闊葉樹混生し、海岸を遠ざかるに従ひクヌギ、アベマキ、ナラ等が落葉闊葉樹の混生を増加し、中央分水嶺に近づくに従つてブナ、ナラ等を主林木とする落葉闊葉樹林となり、高峻なる山地に至つては其の純林を見るのである。

其の他淡路の中部以南にはウバメガシの純林があり、又北播、但馬、丹波には杉、扁柏、櫟の人工造林多く、中にも越知谷村、杉原谷村、西谷村、生野町、山口村の杉、扁柏の造林は著名であ

林業戸數 昭和十一年七月一日の調査に依る本縣林業戸數は五萬八千九百餘戸であり、其の八割七分、五萬一千戸は農業を主とし傍ら林業に従事するものであるに反し、純林業家及林業を主とし農業其の他を副業とするもの併せて四千五百餘戸で林業總戸數の八分に過ぎない。而して是等林業家に依つて所有せらるゝ私有林は林野全面積の五割五分を占め二十四萬六千町歩（昭和十一年）に及び其の經營概して良好である。

森林組合 昭和十一年には組合數六十二、組合員數五千二百餘人、其の森林地區四萬二千町歩に達し、私有林の改善に貢献してゐる。

公有林 縣市町村部落其の他の所有に屬する公有林野面積は十七萬百町歩（昭和十一年調査、以下同様）にして林野全面積の三割八分を占めてゐる。内、市町村有林野面積は公有林野面積の五割一分を占め八萬七千町歩、部落有林野面積は公有林野面積の四割七分を占めて八萬町歩であるが、由來部落有林野は管理宜しきを得ざる爲、之が市町村有への統一、入會關係の整理等極力其の整備開發に努めてゐるところである。

林産物 昭和十一年の林産物總額は九百二萬圓にして大正時代後半の一千萬圓臺より遙に低下してゐるが最近五年間は増加の傾向顯著である。其の内用材は二百八十六萬圓（百二十四萬石）で林産總額の三割二分を占め有馬、多可、飾磨、神崎、宍粟、朝來、氷上の各郡に多い。薪炭材は百七十九萬圓（四十四萬棚）で林産總額の二割を占め全國第七位であり宍粟郡を中心とするものである。又丹波及有馬郡を主とする本

縣の松茸は遙に京都府を抜いて日本一であり二百九十萬斤、七十七萬圓となり林産總額の九分を超えてゐる。栗は五千五百石、十四萬圓であるが將來川邊郡を中心として大いに増産を計る見込みであり、其の他富栖村の杉、挿木、苗、八鹿町の妙見杉(苗木)等本縣特有の林産物も少くない。又林産物中の王者木炭は一千二百七萬貫、二百七十九萬圓で、山形縣に次いで全國第十四位であるが目下本縣に於ては製品の縣營検査の施行及製炭指導員の設置並に木炭倉庫の建設等に依り之が改良増産を獎勵中である。

林業に關する一般的な施設としては苗木の養成、造林の獎勵、林業共同施設の獎勵、關係團體に於ける技術員設置獎勵、縣有林、縣行造林、縣營林産検査所、林業試験場及林野災害の防備施設の外保安林の管理等頗る廣汎に亘つてゐる。

二 工 業

本縣は世界屈指の大貿易港たる神戸港を控へ、又我國商工業の中心地である大阪府に隣接してゐる關係から夙に物資の生産活動旺盛を極め、年々膨大なる生産額を示してゐる。昭和十一年に於ける工産總額は



松 茸

十二億四百七十五萬圓に達し本縣總生産額の八八%を占め大阪東京に次いで全國第三位である。生産額中の主なる工業は紡織工業で二億四千八百十萬圓の生産あり、之に次いで化學工業、金屬工業、機械器具工



工 業 地 帯 の 一 部

業の重工業は近年殊に殷盛を極めて金屬工業化學工業は二億圓を超え機械器具工業は一億九千六百三十萬圓の生産額を示してゐる。又本縣の食料品工業は額に於ては全國第一位を占め、就中灘五郷を中心とせる清酒の醸造は全國に聲名を馳せ年々約五千萬圓の生産額を示してゐる。而して縣下には工業試験場を初め幾多の指導機關が設置せられて斯業の發達を助成してゐる。本縣工業の主力は神戸市を中心として其の近傍尼崎、西宮、武庫、川邊、加古、明石、神戶、姫路の各郡市に集中し、揖保、赤穂、多可、加西、津名等の各郡之に次ぎ、但馬、丹波の地方には概して見るべきものが少い。

工場數及職工數 昭和十一年末に於ける本縣の工場數は四千七百四十三、其の職工數二十萬一千二百四十三人である。而して近年工業界の繁盛に伴ひ工場數は年々二百以上の増加を示し、十年前たる大正十四年の殆んど倍に垂んとする有様である。又職工數も之に伴ひ著しい増加の跡を

示してゐる。併し工場の九〇％は職工五十人未満の所謂中小工場で占められ、職工千人以上の大工場は二十八を數へ、其の殆んど凡ては金屬、機械、紡織の工業に屬してゐる。

工業會社 本縣工業の中で會社組織の下に事業を經營するもの頗る多く、本縣に本店を有する此の種會社の數は昭和十一年に於て一千九百二十四を算し、資本の總額は五億八千二百萬圓、積立金は一億二千萬圓である。其の中合資會社は其の數に於ては總數の五一％を占めてゐるが、資本額は總額の僅に三％に過ぎない。又株式會社は社數に於て總數の二六％であるが資本額は九四％を占めて殆んど之を代表してゐる、此の他支店を本縣に有し縣下各地に巨額の資本を投下して盛んに事業を經營する他府縣會社又は外國會社も益々増加の傾向にある。

工業組合 現在は紡績工業八、化學工業八、食料品工業四、窯業三、機械工業一、金屬工業一及雜工業八、計三十三の組合を結成して居り、外に三の聯合會を組織してゐる。其の他設立認可申請中のもの及設立計畫中のものも相當の數に上つてゐる。

重要工産物

紡織工業 本縣に於ける紡織工業の工場數は昭和十一年末現在に於て八百五十を數へ、昭和十一年中の生産額は二億四千八百萬圓の巨額に達してゐる。本縣總工産額の二一％は此の工業で占められ全國的に見ても、大阪、愛知に次いで全國第三位にあり、年々莫大なる増加傾向を辿つてゐる。此の工業に屬する主なるものを示すと次の如くである。

紡 績 綿絲、毛絲、絹絲及麻絲の四種で、昭和十一年の産額は一億萬圓を突破してゐる。此の中綿絲は四千七百八十萬疋、六千萬圓に上り紡績中の大宗で、工場は兵庫、高砂及洲本の鐘ヶ淵紡績株式會社工場、尼崎及明石の大日本紡績株式會社工場、姫路、飾磨の福島紡績株式會社工場、赤穂の東洋紡績株式會社工場、其の他日の出、内外綿、大阪合同、龍田、喜多等の紡績工場がある。毛絲の産額は三千六百萬圓で伊丹製絨所、今津紡毛株式會社、日本毛織株式會社、山陽絹毛會社等が代表的の工場である。絹絲紡績は四百萬圓の産額で東洋紡績株式會社の生産が之を代表してゐる。麻絲の生産は四百九十一萬圓で神戸市に於ける小泉製麻株式會社工場及大阪製麻株式會社神崎工場の生産が大部分である。

綿織物 本縣の綿織物は主産地多可郡を中心として播州一帯の町村に普及發達し昭和十一年に於ける生産總額は約六千萬圓の莫大なる額を示した。就中廣幅物は總額の八六％を占め年々増加の傾向にあるが、小幅物は之に反して年々漸減歩調を辿つてゐる。又特殊物の近年に於ける躍進も目覺しく、殊に赤穂の縮緬通は工藝的製品として全國的に知られ



紡績工場の一 部

年産三萬圓を擧げてゐる。而して綿織物の海外輸出は逐年増大し主要販路は南洋諸島、印度、阿弗利加等である。中小規模の經營者は縣當局の指導と補助の下に多數の工業組合を結成して輸出品の仕上、荷造、検査等をなし製品の品質、數量の統制を嚴重にして市場に於ける信用の向上に努力してゐる。

毛織物 羅紗、モスリン、サージ、フランネル及毛布類は其の主要なるもので其の他の毛織物を合せて三千百八十四萬圓の産額である。加古川町及米田町の日本毛織株式会社及伊丹製絨所の生産が多數を占めてゐる。近時内地の需要を充たすに止まらず世界各國に輸出されてゐる。

メリヤス製品 昭和十一年に於けるメリヤス生産額は六百九十九萬圓で綿靴下が其の四四%を占め印南郡が最も多く生産してゐる。此の他絹毛製靴下、シャツ類、手袋等も大量に生産され武庫、川邊、明石、姫路等の郡市が主産地である。

麻織物 年産六百萬圓で神戸市及川邊郡が殆んど全部を生産してゐる。

絹織物 絹及絹交織物は年産約二百萬圓である。出石郡出石町及資母村を中心として製織せられる縮緬は出石縮緬として夙に名聲を馳せてゐる。

化學工業 昭和十一年に於ける生産額は二億三千百圓に達し紡織工業に次いで多額を示し神戸、尼崎、西宮、武庫、川邊等の郡市に發達してゐる。

其の中主要なるものを示すと左の通りである。

護謨製品 神戸市を主とする本縣の護謨工業は明治の末期に漸く其の形を整へ、爾來進歩の跡著しく

今日では全國生産額の三五%以上を占め、我國護謨工業の中心を成すに至つた。昭和十一年の生産額は四千百萬圓で化學工業中の王座を占めてゐる。この中大半はタイヤー及其の附屬品で靴其の他の履物は總額の二二%である。而して工場數は昭和十一年末現在百二十九を數へ、是等工場の經營は其の沿革が新しいだけに何れも近代的な工場組織に依つてゐる。業者は互に鞏固な工業組合を結んで原料の共同購入、生産の統制、製品の検査、販路の擴張等に當り斯業の發展に目覺しい活躍を續けてゐる。

肥料 本縣に於ける肥料は年々著大なる生産額を示し、品質も益々向上して昭和十一年に於ては實に四千三百萬圓の巨額に達し全國第一位の生産額を示してゐる。この中最も多いのは配合肥料で總價額の五五%を占め、植物質肥料は一千萬圓、礦物質肥料は八百萬圓である。礦物質肥料の殆んど全部は過磷酸石灰で近年増加の傾向顯著なものがある。又動物質肥料は年産五百萬圓程度で其の主なるものは粉末魚肥である。而して主産地は加古郡、尼崎市、武庫郡、神戸市等で加古郡別府町の多木製肥工場は全國屈指の大工場である。

製紙 昭和十一年に於ける本縣の紙類生産總額は一千七百四十二萬圓で、印刷料紙の二百六十萬圓、アートペーパーの百三十三萬圓、艶紙の百萬圓、板紙、半紙、圖書用紙の各七十萬圓が主なるものである。

薄荷・樟腦 共に本縣の特産品で薄荷は年額七百三十萬圓に上り薄荷腦が其の六二%を占めてゐる、又樟腦は年産額八百七十六萬圓で重要輸出品として主として北米合衆國、英領印度、佛蘭西等に輸出さ

れる。

植物油 本縣に於ける植物油の生産額は本邦第一位であつて年産二千六百二十六萬圓である。この中
荳油は總額の三一%、菜種油及大豆油は各一九%に當り亞麻仁油、棉實油等之に次ぐ。主産地は西宮市を
筆頭に武庫郡、神戸市、三原郡である。

製 革 本縣の製革は生産額に於て全國第三位で昭和十一年に於ては六百二十三萬圓の生産高を示
した。而して牛革は姫路市の産額がその過半以上を占め飾磨郡、川邊郡、掛保郡等之に次ぎ、馬革は川
邊郡に産出する。

其の他 以上の外工業藥品、加工油、セルロイド、塗料、石鹼、顔料及化粧品、蠟燭、蓄音器レコ
ード、リノリウム等重要なる化学工業品の生産高も年々多額を示シヴオルガナイズド・ファイバー等
新興化学工業の發達も目覚ましいものがある。

金屬、機械、器具工業 金屬工業、機械器具工業等の所謂重工業は近年時局を反映して實に驚くべき殷
盛を極め、殊に本縣に於ては川崎造船所、三菱造船所、神戸製鋼所、住友伸銅鋼管工場、川西航空機製作
所、川崎車輛工場、三菱電機製作所等幾多の世界的大工場を有して本邦屈指の重工業縣をなしてゐる。昭
和十一年に於ける金屬、機械器具の生産額は四億三千七百萬圓の巨額を示し、本縣總生産額の三六%を占
め大阪、東京、福岡に次いで全國第四位を占めてゐる。製品の主なるものは鋼塊、鋼線、亜鉛鍍金、特殊
鋼、釘類、板製品、船舶、原動機、紡機、車輛、自轉車、電氣機械器具、農工具等では等の主産地は神戸市

を中心として東は尼崎、西は相生に延び、郡部に於ても美養郡三木町の刃物は殊に有名で、古くより質に
於て量に於て全國を風靡して年々百五十萬圓の生産額を上げ三木町には金物試験場が設立されてゐる。

窯 業 本縣の窯業は硝子製品を初め煉瓦、セメント、珐
瑯鐵器、陶磁器、瓦等に著しい發達を示し就中硝子製品は尼
崎市の特産たる燻類等年産一千二十八萬圓に達して窯業總生
産額の首位を占め、瓦の生産は總額二百六十八萬圓で全國第
二位で三原、津名、神崎、明石、飾磨の各郡及明石、姫路の
二市を主産地としてゐる。陶磁器は年産百二十萬圓で其の八
〇%は三原郡で生産せられ、其の他明石市及出石郡に相當の
生産を見る。殊に出石産は所謂出石焼と稱して夙に世に知ら
れてゐる。

食料品工業 本縣の食料品工業は西宮市、武庫郡の清酒釀
造を中心として盛大を極め、昭和十一年の生産額は一億七千
二百八十九萬圓で全國に冠たる巨額に達した。其の主なるも
のを擧げると次の通りである。



釀造場の一部

清 酒 本縣は酒造に最適の原料米と又氣温の適度其の他の自然的條件が完備してゐる關係上古來酒造

業が盛んで、量に於ても質に於ても全國に卓絶し、殊に灘地方では芳醇な銘酒を醸造し斷然天下に覇を稱へてゐる。昭和十一年末現在に於ける醸造場数は五百四十五を數へ生産額は四千八百四十一萬圓に達し全國總額の約二〇%を占めてゐる。此の大部分は前記灘五郷の醸造に係る。此の他明石、加古、津名、加西、赤穂の諸郡に於ても研鑽日々怠らず良酒を多量に生産してゐる。

ビール 西宮市に大日本麥酒、尼崎市に麒麟麥酒等の大工場があつて年産二千三百萬圓に達し本邦第一位を占めてゐる。

醬 油 年産九百六十五萬圓で此の中四八%は揖保郡の所謂龍野醬油である。之は關東の野田、銚子産と共に有名で關東醬油の濃厚なるに對し色澤淡薄を特色としてゐる。

素 麵 年産六百七萬圓で本邦産額の過半を占めてゐる。本品は全く農家の副業よりなれるもので揖保、飾磨の二郡が主産地である。揖保郡小宅村の播州手延素麵工業組合の建値は本邦素麵の標準相場となつてゐる。

其の他 食料品工業で特に有名なるものは砂糖、小麥粉、菓子、清涼飲料、乳製品、寒天、食鹽、凍蒟蒻、凍豆腐等があるが、就中寒天は有馬、武庫の二郡で生産され、年産六十二萬圓、主として海外に仕向けられる重要輸出品である。又食鹽は赤穂郡の生産で十一萬圓程度、凍蒟蒻、凍豆腐は多可、加西の兩郡に多く共に全國に冠たる産額を示してゐる。

雜 工 業

燐 寸 本縣に於ける燐寸工業は全國的に有名で年々莫大なる生産額を示し大貿易都市を擁して盛んに海外に輸出される。年産額約一千萬圓にして全國産額の約七割五分に達し、大同マツチ（六工場及同社系十三工場）工場のみにも全國の約六割を生産する状態である。

製材及木製品 本縣は良質の用材を多量に産出し縣下到處に製材業目覺ましく發達し板、角、丸、ベニヤ板等合せて年産七百十萬圓を算してゐる。又西宮市及武庫郡に於ける醸造業の殷盛は桶樽類の木製品製造を著しく發達せしめ年産三百八十萬圓に達してゐる。此の他包装用木箱、木管、家具及建具等の木製品の製造は尼崎、神戸、飾磨、川邊、宍粟、武庫、多可、加古等の郡市に盛んで宍粟郡山崎町には木工試験場が設置せられてゐる。

杞柳製品 行李、籠及バスケット等が主なる製品で總額二百七十三萬圓に及び全國第一位である。此の中行李類が大部分を占め城崎郡が代表的の産地である。

貝 釧 百五十萬圓の年産で津名郡が其の大部分を占め製品は多く海外輸出品である。

竹製品 神戸市の竹簾、竹ステッキ、有馬郡の有馬籠は代表的のもので何れも海外に輸出され總額六十五萬圓に達する。

其の他 雜工業に屬すべき主なるものに運動靴、帽子、製綱、石綿製品、疊、麥稈製品、刷子、刷毛等を數へ何れも莫大なる生産を示してゐる。

三 商 業

本縣は陸に海に豊富な物資を包有して農工業の旺盛な生産活動が展開されてゐると共に交通機關が整備して四通發達ならざる地點なく、而も人口九十萬を越へる神戸市を初め姫路、尼崎、明石、西宮の大都市を控へて商業の殷賑は實に目覺しいものがある。殊に外國貿易に於ては世界屈指の要港たる神戸港を擁して内外物資の出入頻繁を極め驚くべき貿易額を示してゐる。

會 社 本店所在地を本縣に有する會社數は年々遂増の傾向を辿り、昭和十一年末現在に於ては六千四百八十六社を算し東京、大阪に次いで全國第三位である。之を組織別に觀ると合資會社が最も多く三千三百一十一社で總數の五〇%を占め、株式會社は一千五百五社、合名會社は一千六百六十六社、株式合資會社は四社である。出資額及公稱資本金は總額十三億五千八百九萬圓に達し東京、大阪に次いで第三位を占め平均一社に付二十萬九千圓に當る。而して出資額及公稱資本金の八七%は株式會社が占め株式資本の全盛を物語つてゐる。次に之を營業別に觀ると社數に於ては商業會社が總數の五八%を占め、工業、運輸等之に次ぎ、水産會社は僅に五社に過ぎない。出資額及公稱資本金に於ては工業會社が首位で五億八千萬圓、商業會社は僅に落ちて四億二千萬圓である。會社の地域的分布は神戸市が總社數の六一%を包有して大商工都市の面目を示し、武庫郡の三百十六社之に次ぎ尼崎市、姫路市、西宮市等之に次いでゐるが何れも二百五十社内外である。

貿 易 神戸港は横濱港と共に我國外國貿易の大要港であるが、關東大震災後貿易額に於ては遂に横濱港を凌ぎ殊に近年我國對外輸出の伸張と共に目覺しい發展を遂げつゝある。昭和十一年に於ける貿易狀況を觀ると輸出總額は九億七千萬圓で我國輸出總額の三六%を占め輸入總額は九億五千八百萬圓で我國輸入總額の三五%に當る。輸出品中の六五%は全製品で殊に綿織物の一億八千三百万圓生絲の九千六百万圓及人絹織物の九千萬圓が主なるもので生絲に就ては神戸税關構内に生絲検査所が所在して嚴重な検査の下に輸出せられる。此の他絹織物、毛織物、運動靴、メリヤス品等が之に次いでゐる。之に比して食料品、原料品は共に六%に充たざる状態である。輸入に於ては其の七四%までが原料品で全製品輸出状況と對比して如何に我國が原料外國依存の加工々業國であるかが窺はれる。輸入の主なるものは北米、英領印度及坡及から來る棉花で五億三千万圓を算し生ゴム之に次いで四千萬圓となり、パルプ、羊毛、機械類之等が之に次いで多額で何れも三千万圓内外である。全製品、食料品の輸入は總額の一〇%に充たない寥々たる有様である。次に神戸港の貿易を通商國別に概観すると貿易額の大なるものは



神戸生絲検査所

北米合衆國、英吉利、英領印度、蘭領印度、濠太刺利等であるが、近年新市場として南米、亞弗利加への

進出あり又新興滿洲國との貿易も相當の額を示してゐる。

我が神戸港は唯に外國貿易に於て本邦に冠たるのみならず内國貿易に於ても亦本邦屈指の重要港である。其の貨物の集散する關係區域は四國、中國、九州を初め北海道、樺太、朝鮮、臺灣及南洋等我國全領土に及び取引港は昭和十一年には實に五百を數へて移出入額、十九億圓を算し常に大阪、東京と共に斷然他港を凌駕してゐる。



神戸商工會議所

銀行は六である。又銀行以外の金融機關としては信用組合四百十五、信託會社一、無盡會社十二、質屋七百三十を數へる。

取引所

株式會社神戸取引所は資本金三百五十萬圓で取引物は米穀、證券、蠶絲の三種である。就中證券の取引は最も盛にして昭和十一年に於ては九百八十萬枚十一億九千五百萬圓に達す。

商工會議所

神戸、姫路及明石の三市にある。議員數は總數百二十人で神戸商工會議所が最も多い。

市場

縣下各地に於ける卸賣及小賣市場は總數二百十七であるが、就中神戸中央卸賣市場は昭和七年四月竣工以來需要供給の調節、取引の公正等市場機能を充分に發揮して昭和十二年の取引高は二千六百萬圓に達してゐる。

四 水 産 業

水産業者及産額 本縣は南に瀬戸内海、北に日本海を控へ古來水産業は相當發達して居る。

昭和十一年末現在に依る漁撈、製造、養殖に従事する者は約三萬人、漁船數は一萬餘隻で此の内三割九分は動力を有して居る。

一箇年の水産總額は一千四百四十萬圓に達し之を類別すると水揚高は約七百十萬圓、製造高は三百三十萬圓、養殖高は十八萬圓、寒天は七十五萬圓である。



神戸中央卸賣市場

漁業の状態

日本海と瀬戸内海とは全く其の趣を異にし、瀬戸内海は海浅く波穏かで魚介藻の成育に

適し、到る處に好個の漁場を有し、其の主要魚族としてはタイ、イワシ、サワラ、ハモ、イカナゴ、エビ、タコ等である。然し乍ら海域狭少に比し漁業者が非常に多い關係から其の漁獲法も自ら巧緻で、殊に一本釣や延縄の如きは他地方業者の追隨を許さぬ處である。此の外鰯巾着網、地曳網、鯛縛網、鯛敷網等の漁業も發達して居る。

又此の地方は京阪神の大消費地を控へて需給の調節に極めて便利である事も斯業の發達に好條件を備へて居る。

日本海方面は海深く風強く爲に大型機船漁業の發達を促し、殊に機船底曳網漁業の如きは秋より春にかけて本縣沖合は勿論の事鳥取、島根の沖合及沿海州に迄も出漁しカレイ、タラ、ズワイ蟹の漁獲に従事して居る。

遠洋漁業 昭和七年本縣水産指導船但馬丸に依り沿海



水産専用無線電信電話局

州沖合の公海に好漁場を發見せられてより春秋の兩期同方面に出漁する大型底曳漁船は逐年其の數を増し現在では二十七隻に達して居る。是等は無線電信に依つて香住漁業専用陸上無線局と氣象漁況、市況等の

相互通信に依つて遭難を未然に防止する傍ら魚價の維持と漁業能率の増進を圖つて居る。

但馬地方沿岸漁業としては「カンコ」と稱する小舟に依つてサバ、イカ等の釣漁業、大謀網に依るイワシ、トビウヲが漁獲され、最近落網に依る鮪漁業が勃興して來た。

水産製品は大都市を控へ鮮魚の儘で取引せらるゝ爲、蒲鉾、煮干鰯、煮干イカナゴ、寒天の外には著しいものはない。

水産養殖は現在の産額は少いが今後開發せらるゝ餘地甚だ多く、西播地方のノリ、カキの養殖も漸く其の緒に着いたので將來は大いに産額の増大が期待せられ、又農家の副業としての稻田や溜池を利用する養鯉事業も、河川にサケ、マス、アユ等冷水魚の増殖事業も次第に普及發展しつつある。

本縣に於いて水産團體としては兵庫縣水産會の下に十二の郡市水産會があつて水産業の改良發達に努め、又漁業組合の數は百七に及んで居る。此の内河川の組合は十で他は海面の組合である。



鯛 網

漁村の開發は漁業組合が中樞機關となつて凡ゆる經濟行爲を爲さねばならぬと云ふので最近責任組織に

改めるもの次第に多くなりつゝあるの現状である。

本縣に於て水産試験機關として明石市に水産試験場の本場を城崎郡香住町に分場を、漁村中心人物養成の爲津名郡洲本町に分場を設置し、各地の試験研究と當業者の指導に最大の努力を致して居る。

五 鑛 業

本縣は生野、明延等の我國有数の鑛山を有す由來鑛業は極めて發達し年々莫大なる採掘量を示しつゝある。殊に近年探鑛熱の旺盛に伴ひ縣下到處に新しい鑛域が發見され、本縣は相當主要なる鑛産縣を以て目されるに至つた。昭和十一年に於ける採掘鑛區は百十二區、此の面積百二十六萬アールに及び、試掘鑛區に至つては其の數三百二十七區を數へる有様で、採掘鑛區の中でも稼業數は休業數に反比例して年々増加の一途を辿つてゐる。而して鑛産額は昭和十一年に於て總額千五百六十萬圓に達し昭和九年の實に二倍以上で本縣に於ける斯業の躍進が近年如何に目覺しきかを物語つてゐる。鑛産物の製品は極めて少なく内主なるものは金、



生 野 鑛 山

銀、銅、錫、亞砒酸、アンチモン、クロム、鉛等で殊に銅は八十四萬担、七百二十六萬圓の年産を示し總生産額の四七%を占めてゐる、銅の採掘として有名なものは朝來郡生野鑛山である。之に次ぐものは錫の百八十萬担、六百萬圓にして殆んど凡ては養父郡南谷村の明延鑛山で採掘精鍊される。

金の生産は最近著しく増加して昭和十一年に於ては精鍊されたるもの六十六萬一千圓、銀は製品としては十四萬圓である。又鑛石の産額は百三十三萬圓で此の主なるものは、金銀鑛六十九萬一千圓、銅鑛十九萬圓、銀鑛十四萬六千圓、金鑛十萬四千圓等である。

第七 交 通

交通機關は産業の發達と共に逐年伸展して昭和十一年末現在に於ては國道五線三百三十六軒、縣道四百七十八線三千九百七十軒、國有鐵道延長四百八十三軒、地方鐵道十一會社二百二十七軒、電氣軌道は神戸市外四會社二百十四軒を數へる。近時道路の改良に伴ひ縣下普く乗合自動車網が張ら



神 戶 港

れ山間僻地に至るまでバス交通がよく開けてタクシーと共に交通界の寵兒となつた。船舶は昭和十一年末に於て汽船七百六十隻、帆船二千九百三十七隻、石敷船七十四隻を數へる。神戸港を初め明石、洲本、西宮、飾磨等六十八に達する港灣には日々大小の船舶が多數出入して淡路、四國、九州の近海航路は固より神戸港の如きは遠く歐米航路の起點を爲してゐる。次に阪神間に於ける交通状態を観ると省線（汽車及電車）、阪神電鐵、阪神急行電鐵、阪神國道電車、阪神國道バス等數多の路線が東西幾重にも疾驅し、阪神國道と相俟つて交通機關の整備發達せること全國に其の比を見ない。又省線は高架線を以て神戸市を縦斷し高速度運轉に便してゐる。尙自轉車は昭和十二年四月一日現在に於ては三十八萬四千七百十二臺あつて都市に於ても僻地に於ても重要な交通機關として愛用せられ、又時勢の波にて漸次減少してゐる人力車も昭和十二年末現在では猶六百六臺を存してゐる。

第八 教 育

教育費（社會教育を含む）は昭和十三年度に於て經常費臨時費を合して總額五百八十五萬餘圓で縣費豫算總額の二割一分強に相當する。

高等教育機關 大學に官立の神戸商業大學と私立の關西學院大學とがあり、高等學校には官立の姫路高等學校と私立の甲南高等學校（七年制）とがある。専門學校には官立の神戸高等工業、神戸高等商船、

縣立の神戸高等商業の諸學校がある。外に私立に關西學院専門部並に關西學院高等商業學校、神戸女學院

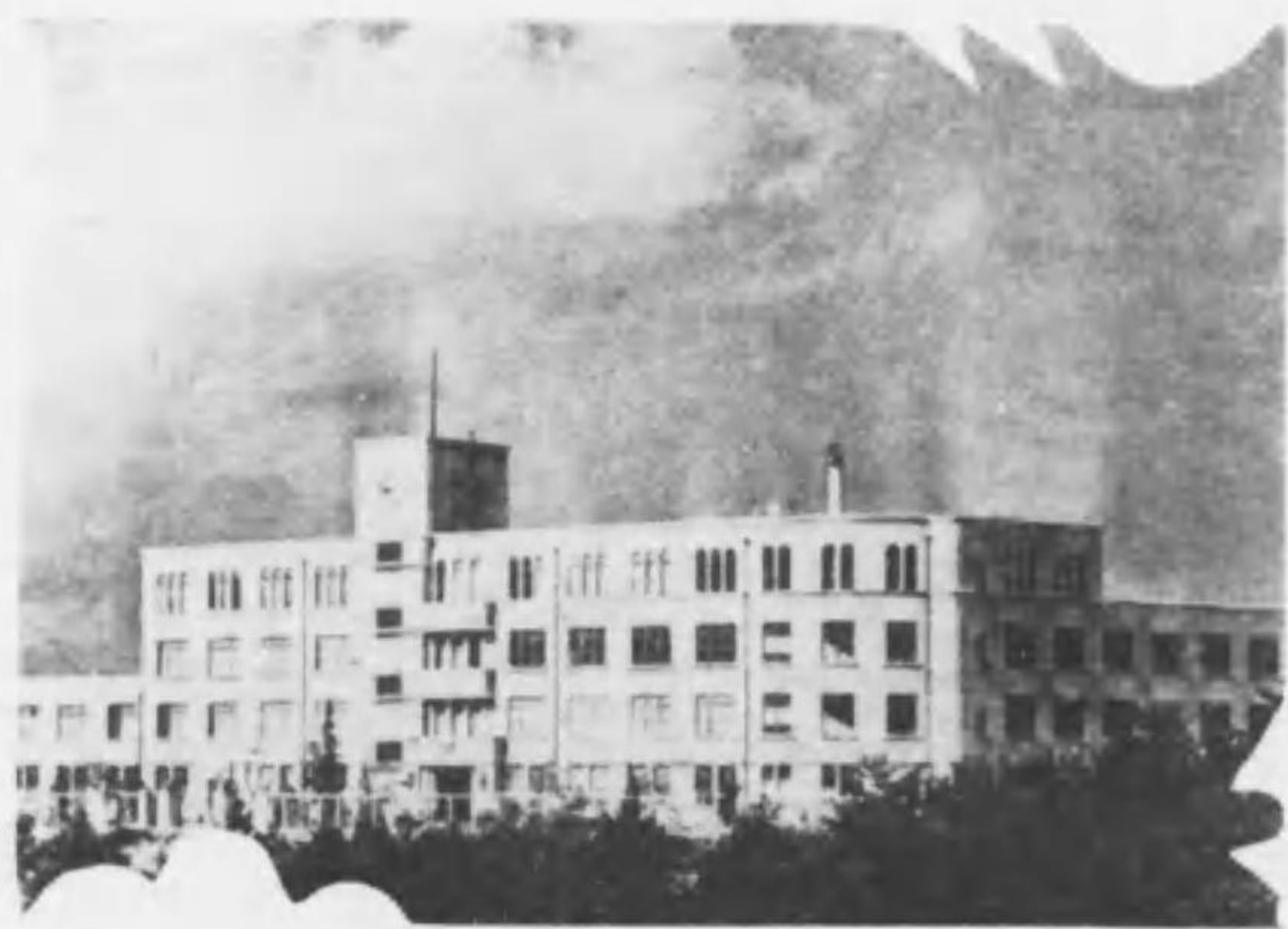
専門部、神戸女子藥學専門學校等がある。

師範學校

在來男子に御影、姫路の二師範學校があつたのであるが、昭和十一年四月以來御影、姫路兩校を合併して兵庫縣師範學校とした爲、明石女子師範學校と共に男女各一校宛となつた。何れも一部、二部並に専攻科を設けて初等教育者の育成に努めてゐる。

中等學校

中學校は公立一五、私立六で、之に準すべき指定及認定學校五を加へて合計二六校、高等女學校は公立二九、私立一三に、之に準すべき指定及認定學校二を加へて合計四四校、實業學校は商業學校に於て男子公立一二、私立五、女子公立一、私立一の計一九校、工業學校に於て公立三、私立一の計四校、農學校は公立のみにて七校、職業學校に於ては公立二、私立七の計九校で通計三九校となつてをり、外に盲學校、聾啞



縣立神戸高等商業學校

學校各一校宛がある。公立農學校中縣立國民高等學校は昭和九年の創立に懸り農村の中堅たるべき信念に生くる農民の育成を目的とせる特殊の施設である。

初等教育 小學校は昭和十三年三月末現在に於て總數六三八校、内譯は神戸市に六九、姫路市一五、尼崎市一〇、明石市四、西宮市九、其の他の二五郡に五三一校で、一町村平均一・三六校の割になつてをり。教員の總數は市郡を通じて一八、八〇三名である。其の他に私立小學校七校がある。

初等教育は時局に鑑み、(一)皇道の宣揚、(二)師道の振肅 (三)連続的發展的校風の樹立、(四)訓育の徹底、(五)教師兒童の健康増進を目標として着々其の實効を收めつゝある。

特に最近の著しき發達の一つは學校給食による榮養の改善と學童の健康増進である。實施學校數五九八校、給食實人員三五、三四一人、給食延人員二、〇八五、八二六六人、經費一三三、二三七圓である。

高等小學校教育に於ける職業指導の發展亦著しく、神戸市を初め四市の特色ある經營と農漁村のそれ々々地方に適當なる施設により益々向上實績の見るべきものが多い。

其他各種學校 更に小學校類似の各種學校約三四、其の他の各種學校約五四があつて、小學校類似の中には鐘紡其の他の諸工場内に設置された女工の爲の學校が數



國立國民高等學校

校あり、又、其の他の各種學校には縣立の夜間女學校を始めとして少しく特殊なものもを摘記して見ると、程度の高いものでは神戸工業高等專修學校親和女子商業專修學校や康徳學院があり、職工の爲には神戸三菱職工學校や川崎造船所の川崎東山學校、川西航空會社の川西航空工學校、パルモア英學院、寶塚音楽劇學校等があり、尙在留中華民國人子弟のみの教育を目的とするものには華僑同文學校、阪神中華公學等あり、専ら歐米人子女の教育を目的とするものには聖瑪利亞女學校、加奈陀學校、イングリッシュ・ミツシヨン・ボーイズ・スクール等があり、それ々々相當の實績を擧げてゐる。

幼稚園 幼稚園教育の普及は近年特に見るべきものがあり、神戸市其の他の市部はもとより、農山漁村に於ても幼稚園の設置數相當多數に上り、公立に於て六二、私立に於て八九を算するの盛況を呈してゐる。

青年學校 青年學校は從來の實業補習學校及青年訓練所から昭和十年十月一日を以て名實共に轉移を了り順調な發達を示してゐる。公立青年學校は大多數小學校併設であるが、未設置市町村が無く五六二校となり、私立は工場、商店、會社方面の理解が著しく高まり頗る増加して三九校を算するに至つた。生徒數は男子四九、六六一、女子二〇、二一〇、計六九、八七二人で全國道府縣中第六位に在り、科別所屬比率は普通科七%、本科七六%、研究科九%、專修科八%である。職員は總數五、八四八人で内專任教員は七二人、公立學校では一學校一・三人の割合となつた。

青年學校の實施に關しては昭和十年六月施行規則を定め根本方針を確立し尙當面の獎勵として(1)就學出

席卒業率の向上、(2)施設經營方案の確立、(3)教授及訓練の郷土化生活化、(4)後援機關の設置と活動促進、

(5)指導方法の研究刷新の五項を強調し、別に都市農山漁村等環境を異にせる地方に研究學校を指定し各適切なる施設經營の研究に當らせてゐる。

青年學校教員養成所は男子修業年限二年で、特に専用農場に於て農家の體驗を積み専任教員たる信念を得させることに努めてゐる。

圖書館 圖書館は公立七三、私立二五、藏書三八四、九四八冊、年經費一〇五、九四八圓で、外に兵庫縣社會教育課の巡回文庫は藏書三〇、八七四冊、一ヶ年廻付町村數二二八、閱覽人員三八、七七八、閱覽冊數四一、二三〇に及んでゐる。

青年團及婦人會 兵庫縣聯合青年團は大正十三年九月の創立に懸り縣下五市二十五郡の聯合青年團を以て組織單位とし、團員總數約十一萬人で概ね義務教育終了後二十五歳までの者を正團員とす。指導の重點は國民的信念の強化、團體訓練の徹底、政治教育の普及、産業教育の充實等に置き特に中堅青年の養成に力を注ぎ、縣立國民高等學校内に青年講習所を特設してゐる。



青年團令旨塔

兵庫縣聯合女子青年團は昭和二年十月の創立に懸り郡市聯合女子青年團を組織單位とし團員總數約五萬人で概ね義務教育終了後結婚までの者を正團員とす。指導の重點は國民的信念の強化、家庭實務の訓練、産業的教養等に置き、特に情操の陶冶、健康の増進等に留意して居る。

兵庫縣婦人會は昭和三年五月の創立に懸り現在五市二十五郡の聯合婦人會を以て組織し、概ね一家の主婦たる者を正會員とし會員總數約二十七萬人に達する。指導の重點は家庭教育の振興、家庭實務の研究、生活の向上等に置いて居る。

第九 社寺・教會

本縣の神社は昭和十一年末に於て總數四千八百二社あり内、官幣社八、縣社七十六、郷社百五十九で他は村社及無格社で神職の總數は四百七十一人である。

官幣社 官幣大社は二社あり、廣田神社は天照大御神荒

魂を祀り西宮市廣田山に鎮座し、伊弉諾神社は伊弉諾尊、伊弉冊尊を祀り淡路多賀村に在る。官幣中社は



廣田神社

三社あり、生田神社、長田神社は共に神戸市に在り、前者は稚日女尊を、後者は事代主神を祀る。海神社は明石郡垂水町に在つて底津綿津見神を主神とする。國幣中社は二社、宍粟郡神戸村伊和に在るものが伊和神社で、出石郡神美村宮内に鎮座するものが出石神社である。楠正成公外十八柱の神を祀る別格官幣社湊川神社は神戸市の中央に位し全國的の崇敬を集めて居る。

寺院 昭和十一年末現在寺院總數は三千九箇寺、住職總數は二千九百三名にして最も多いのは眞宗の八百九十七箇寺、之に次ぐは眞言宗の六百三十六、曹洞宗四百三十七、淨土宗三百五十三、臨濟宗三百十二、天台宗百七十、日蓮宗百六十一の順序で、黄檗宗は遙に少く僅に三十二、時宗の十一個寺最も少い。

教會所 昭和十一年末現在神道に屬する教會所は總數千四百二十四を算へ内天理教は九百六十七で總數の六割八分を占む。佛道に屬する教會所は總數は六百三十四、内眞言宗に屬するものは二百七十三にして總數の四割三分に當り眞宗に屬するもの百八十六にして二割九分を占む。基督教會の總數は會堂百二十八、宣教者百二十七人、信徒一萬五千六百六十五人なり。

第十 社會事業

本縣では大正八年救護課を新設し翌九年之を社會課と改稱し社會事業關係事務を統轄することゝなつたが、昭和四年に社會教育課が新設され、從來社會課所管事務の一部を之に移管し、昭和十一年九月更に職

業課の新設に依り再び社會課所管事務の一部を之に移管した。昭和十二年度の社會課關係豫算總額は八十八萬二千餘圓で、補助費三十一萬餘圓、直營事業費二十一萬五千餘圓、罹災救助基金支出二十萬七千餘圓、

慈惠救濟基金及恩賜賑恤基金支出參萬七千餘圓が主なる費目で、又縣及市町村の社會事業豫算總額は二百六十餘萬圓である。

直營事業及主なる助成事業 縣立農工學校 明石郡魚住村に在り、明治四十三年感化法に基いて設立され土山學園と稱したが昭和九年少年救護法の實施と共に農工學校と改稱し、現在收容兒童定員百十名で普通學科の外農業、木工、洋裁、印刷等の職業教育を施して居る。

縣立兒童研究所 神戸市大倉山西に在り、昭和五年西宮市八馬兼介氏の醸資に依り建設されたもので、醫學及心理學上から兒童心身の發育状態を研究調査し、之が保護教養に就て指導をする。

昭和十一年度の検診兒童實人員は二千九百八十人に達す。

縣方面委員制度 大正八年恩賜賑恤基金に依る一般窮民救護の爲め救護視察員（縣吏員）を設置したことに濫觴を發して居るが

昭和二年方面委員制度を縣下全般に實施し、視察員は之が指導聯絡の任に當ることゝなつた。現在委員定



縣立農工學校作業場

數は千五百五十七名で昭和十一年度の取扱件數は十三萬八千餘件に及ぶ。又方面委員は救護法に依り市町村長の補助機關となつて居るが、同法に依る昭和十一年度被救護者總數は八千七百餘人で、之が救護費總額は三十一萬餘圓に達する。

地方改善事業 本縣は要改善地區の戸數人口に於て全國第一位を占めて居る關係上之が施設に就ても特に意を用ひ夙に専任指導職員を設置すると共に大正九年以降施設費補助豫算を計上し融和の促進に努めて居る。昭和十二年度の之に關する豫算は二十二萬餘圓である。

農繁期託兒事業 大正十五年以來獎勵規程を設け補助豫算を計上し、農繁期に於ける託兒所の設置を獎勵せる結果、昭和十二年度には八百五十箇所の開設を見、之に對し一萬二千三百五十一圓の縣費補助を支出した。

移植民保護事業 移民事業は従前主として南米移民を對象とし之に對應して神戸港は移植民の乗船地たる關係上國立移住教養所の設置あり、又トラホーム等の爲め渡航延期となつた者を保護する目的で財團法人兵庫縣海外渡航助成會がある。日伯兩國の親善及移住者の相



院兒孤戶神

談機關に日伯協會がある。縣では講演會、展覽會、活動寫眞會等を開催し移植民の保護獎勵に努めて居るが、昭和十二年以來重要國策滿洲農業移民及滿洲少年義勇軍大量募集に着手し、加西郡北條町國民高等學



所介紹業職立市戶神

校内には滿洲移民訓練所の設備あり。尙本事業の助成團體として兵庫縣滿洲移住協會も設立され、職業課内に事務所を設けた。昭和十二年度移植民獎勵費は一萬一千餘圓である。
其の他の公私社會事業 各種の社會法令、縣規程其の他に依つて設立された公私社會事業施設は縣下を通じて百平を算へる。社會事業の聯絡助成機關としては財團法人兵庫縣救濟協會があり、其の他事業別統制聯絡機關數團體がある。
兒童保護施設としては保育所二十九箇所、育兒院四箇所、兒童相談所十箇所、母子寮二箇所、其の他神戸市及縣救濟協會の巡回産婆制度等があり、盲啞兒保護の施設二箇所がある。
少年保護施設としては少年救護法に依る縣立農工學校、少年法に基く施設が八箇所ある。
司法保護施設としては財團法人兵庫縣聯合保護會及其の支部の外に八箇所がある。

養老救護施設としては神戸市立救護院及分院其の他に三箇所がある。

醫療保護施設としては恩賜財團濟生會兵庫縣病院、同林田診療所を始め加古川、西宮、尼崎に縣庶民病院があり、此の外市町村其の他の診療所が二十箇所ある。

經濟保護施設としては公益質屋二十六箇所、住宅組合百九十三、又不良住宅地區改良法に依る大アバト式生田川共同住宅、東西共同宿泊所、東西無料宿泊所、公設食堂六箇所がある。

職業紹介所は最近落成を見た神戸市の綜合職業紹介所を始め二十四箇所がある。此の外神戸労働保險組合方面委員會經營の授産場等も本縣に於ける特色ある施設である。

海員保護施設としては神戸市立海員會館及財團法人神戸海員ホーム等がある。
軍事扶助施設としては帝國軍人後援會其の他數團體あり、更に是等團體の統制を圖る爲め兵庫縣軍事扶助地方委員會がある。

第十一 財 政

縣豫算 本縣々費豫算は市部(神戸市)、郡部(神戸市以外)、及市郡連帯に分れ所謂三部制である。

而して昭和十三年度豫算は三部合計一般會計、特別會計通じて總額三千五百三十三萬圓で主なる費途別は警察費四百八十四萬圓(二割四分)、土木費八百九萬圓(二割三分)、教育費九百五萬圓(二割六分)、勸業費三百三十三萬圓(九分)である。又主なる歳入は稅收入(神戸市に對する分賦金を含む)千六百三十三萬圓

(四割六分)、國庫補助金三百九十二萬圓(二割一分)、縣債二百五十九萬圓(七分)である。

市町村豫算 縣下市町村の昭和十二年度豫算は一般會計、特別會計を通じて總額九千三百三十萬圓で内

神戸市六千四百十萬圓、姫路市百七十萬圓、尼崎市二百九十萬圓、明石市九十萬圓、西宮市二百七十萬圓、三百九十四町村合計二千六百二十萬圓である。今歳出豫算を示せば

區 別	役場費	土木費	教育費	衛生費	公債費	其ノ他	計
歳出總額	七,七三三,千圓	七,三三〇,千圓	一七,三七三,千圓	三,九一七,千圓	一三,八六七,千圓	四九,四六五,千圓	九八,五五五,千圓
神 戸 市	(八・〇)	(七・〇)	(一・八)	(四・〇)	(一・三)	(五・〇)	(六四,一四〇)
姫 路 市	三,九四三	三,六五三	六,三〇一	一,六〇八	一〇,〇三三	三八,六〇五	六四,一四〇
尼 崎 市	一八八	一〇五	五二六	二二七	一六二	四九三	一,六九〇
明 石 市	一五〇	三三〇	七三三	九四	三八七	一,二三六	二,九四〇
西 宮 市	九七	三三	三二五	四四	一八〇	二四四	九二二
市 計	二七七	三〇六	五一八	一六	二九三	一,一四一	二,七〇六
町 村 計	四,六五五	四,四七九	八,四〇三	二,七〇〇	一一,〇五三	四一,七〇三	七三,三三八
町 村 計	(三・六)	(三・〇)	(一・一)	(三・〇)	(一・五)	(五・八)	(七三,三三八)
町 村 計	三,〇五八	二,七七一	八,九七〇	一,八三八	一,八二五	七,七四五	二六,一六七
町 村 計	(二・一)	(〇・一)	(四・三)	(七・〇)	(七・〇)	(〇・三)	(二六,一六七)

(括弧内は歳出總額に對する割合を示す)

又歳入の内稅收入二千六百三十萬圓、國庫及縣費補助金、交付金及國庫下渡金六百五十萬圓、公債八百七十萬圓にして内譯左の如くである。

區 別	歳入總額		内 容	
	千円	円	千円	円
神 戸 市	六四、一四〇	〇	一一、六八〇	一、〇八六
姫 路 市	一、六九〇	〇	七四八	一四〇
尼 崎 市	二、九四〇	〇	一、〇六九	二〇七
明 石 市	九二二	〇	三〇〇	七三
西 宮 市	二、七〇六	〇	九四二	二三三
町 村	二六、一六八	〇	一一、五七三	四、八〇六
計	九八、五五六	〇	二六、三五二	六、五四四
其 他	四六、六一	〇	四〇四	三二五
公 債	四、七六三	〇	一、三三九	〇
國 庫 及 縣 費 補 助 金 交 付 金 下 渡 金	〇	〇	三五六	〇
稅 收	〇	〇	七七八	〇

諸稅負擔

國稅 昭和十年度の本縣下に於ける國稅總額は六千五百三十萬圓、内直接國稅は二千六百十萬圓で之が一世帶當は四十三圓、一人當は八圓九十錢となる。

縣稅 昭和十二年度豫算に計上せる市分賦金（神戸市に對し縣費所要額として分賦するもの）四百八十一萬圓、郡部（神戸市を除く縣下）縣稅九百六十一萬圓、合して千四百四十二萬圓となる。

市町村稅 昭和十二年度市町村稅收入豫算總額は二千六百三十五萬圓であるが、神戸市に在りては縣費分賦を受くるを以て之を控除し、之に依り戸口當稅負擔額を縣稅と共に掲記せば左の如くである。

區 別	縣 稅		市 町 村 稅	
	額	一世帶當	額	一世帶當
神 戸 市	四、八二七	二二・四	六、八六三	三三・三
神 戸 市 以 外 の 市	九、六〇八	三二・六	三、〇九九	三九・七
町 村 合 計 (平 均)	一四、四三五	三三・九	一〇、八六二	四一・〇
合 計 (平 均)	一四、四三五	三三・九	二一、五三三	四一・〇

縣債及市町村債 昭和十三年三月末に於ける縣債總額は四千六百一萬圓で、内縣事業に使用せるもの三千三百七十二萬圓、市町村及住宅組合に對する貸付金千二百二十九萬圓、之が元利償還費豫算は五百七十五萬圓で總額の一割二分五厘に當り、又昭和十二年三月末に於ける市町村債總額は一億四千六百五十四萬圓、内貸付金八百五十六萬圓で之が元利償還費豫算は一千二百八十七萬圓で總額の一割一分に當る。

(終)

觀光の兵庫縣

観光の兵庫縣目次

景勝地	二	鮎狩	三
史蹟・名勝・天然紀念物	四	飛瀑	三
國寶・國寶建造物	七	キャンプ	六
神社・佛閣	一五	登山	六
温泉	一八	運動場	四〇
海水浴場	三〇	競馬場	四三
公園・遊園地	三三	スキー場	四三
櫻の名所	三五	スケート場	四三
つゝじの名所	三七	ゴルフリンクス	四六
紅葉の名所	三六	ダンスホール	四六
松の名所	三〇	演劇と映畫	五〇
苺狩	三三	名物とみやげ品	五三



六甲極樂溪附近



明石公園



神戸港突堤

観光の兵庫縣目次

景勝地	二	鮎	三
史蹟・名勝・天然紀念物	四	飛瀑	三
國寶・國寶建造物	七	キャンプ	三
神社・佛閣	一五	登山	六
温泉	一八	運動場	四〇
海水浴場	二〇	競馬場	四三
公園・遊園地	二三	スキー場	四三
櫻の名所	二五	スケート場	四三
つゝじの名所	二七	ゴルフリンクス	四四
紅葉の名所	二八	ダンスホール	四四
松の名所	三〇	演劇と映畫	四六
莓狩	三三	名物とみやげ品	四六



六甲極樂溪附近



明石公園



神戸港突堤

城崎温泉



鳴門観潮大渦

(田良要軍司令館撮影)



但馬海岸洞門



観光の兵庫縣

我が兵庫縣は全國各府縣中でも最も天恵に浴した観光地と謂つてよからう。即ち北は渺茫たる日本海に臨み南は淡路島を擁して波靜なる瀬戸内海に面し海岸の美觀はもとより摩耶、六甲の連峰を始め名山秀峰の景勝も亦少くない。神戸市は國際港都として朝な夕な大船巨舶の出入繁く近代的色彩の豊かなるものがあり、須磨、舞子、明石の海岸や高砂、相生、曾根の松は昔から歌や謠曲で名高い名所である。神話の國淡路島や家島、赤穂御崎等の内海の優雅なる風光。香住、餘部、濱坂海岸一帶の日本海の荒波に洗はれた奇岩洞窟の壯觀。有馬、城崎、湯村の温泉郷等自然の景勝の外、史蹟としては鴨越、一の谷等源平時々の古戰場、大楠公奮戦の湊川戦蹟、四十七士の赤穂城址、國寶姫路の白鷺城等は今更説明を加へる必要もないほど有名である。また關西の名園明石公園、天下の絶勝鳴門観潮、瀧野、龍野の鮎狩、鳴尾の競馬、甲子園の野球、寶塚の少女歌劇等四季を通じて観光遊樂の好適地は縣内到處に點在して居る。

景勝地

兵庫縣には景勝地が多い。殊に交通の發達した今日では數刻を出でずして「生活のオアシス」がいくらでもわれ／＼を抱擁して呉れる。

優美繊細な瀬戸内海の繪畫的風光！ 荒削りで、しかも巧緻を極めた名勝天然紀念物「但馬海岸」の神秘的景觀！ 或は幾度か先人に謳はれ語り盡された夢の郷「淡路島」など……………。

これら大自然の景觀は一として觀光客の詩囊を充さざるものはない。



須磨浦公園

名 稱
六甲山
摩耶山
布引溪谷

所在地

神戸市灘區
同 灘區
同 葦合區

交通 順路

〔阪神新在家、阪急六甲より市バス連絡、ケーブル又はロープウェイで山上へ〕
市バス摩耶ケーブル下、ケーブルで山上へ
神戸市電、バス布引

須磨浦公園

同 須磨區

市電、バス須磨終點、山陽電鐵神明バス敦盛塚

須磨、舞子、明石海岸

神戸市須磨區
明石市垂水町

省線、山陽電鐵須磨、舞子、明石

播州家島

飾磨郡家島町

山陽電鐵飾磨より汽船で家島へ一時間十分 五〇錢

相生、坂越、室津海岸

赤穂郡相生町
同 坂越町
揖保郡室津村

〔山陽線那波驛より相生、坂越へバスの便あり
姫路驛より室津へバス七〇錢〕

赤穂御崎

赤穂郡赤穂町

山陽線那波驛よりバス七〇錢、同有年驛より赤穂鐵道・バス連絡

但馬御火浦
(香住・濱坂海岸)

城崎郡香住町
美方郡濱坂町

山陰線香住驛・濱坂驛夏季遊覽船の便あり

瀬戸日和山

城崎郡港村

同 城崎驛バス、モーターボートの便あり

鳴門觀瀾
(淡路福良)

三原郡福良町

阪神より攝陽商船で洲本港、洲本よりガソリンカーで福良着
觀潮船の便あり

洲本三熊公園

津名郡洲本町

兵庫突堤より一圓、大阪天保山より一圓二〇錢

慶野松原、五色濱

三原郡松帆村
津名郡鳥飼村

洲本より淡路鐵道掃守驛下車バス又は兵庫突堤より船で淡着バスの便あり



大石良雄宅址

史蹟・名勝・天然紀念物

史蹟は民族史の結晶であり、名勝は大自然の精粹、天然紀念物は造物主の製作した天然の國寶である。本縣は阪神の文化に接近して居りながら史蹟、天然紀念物等相當殘存してゐる。これらは單に「學術の國寶」として特殊的に取扱ふものでなく、さらに觀光の使命として史蹟に先人を偲び、大自然の精粹を讚美し、博物趣味の向上をはかる糧でなければならぬ。

高名羽の樟	文部大臣指定	所在地	種別	指定年月
神戸市灘區高羽		神戸市灘區高羽	天然紀念物	昭和三年一月

神戸丸山街上斷層	同	林田區長田村	同	同	二・三
明治天皇行幸舊岩倉邸建物	同	葦合區葦合町	史蹟	同	九・二
明治天皇御小休所	同	須磨區須磨浦	同	同	一〇・三
和田岬砲臺	同	兵庫區和田崎町	同	同	大正一〇・三
姫路城	同	姫路市本町	同	同	昭和三・九
明治天皇姫路行在所	同	同	同	同	八・二
明治天皇明石行在所	同	明石市鍛冶屋町	同	同	八・二
西宮砲臺	同	西宮市西波戸	同	同	大正一・三
處女塚	同	武庫郡御影町	同	同	一・三
六甲くろがねもち	同	同	天然紀念物	同	昭和八・一
蘆屋の松	同	同	同	同	同
五色塚(千壺)古墳、小壺古墳	同	明石郡垂水町	史蹟	同	大正一〇・三
明治天皇舞子大本營	同	同	同	同	昭和九・二
明治天皇大久保御小休所址及建物	同	同	同	同	同
尾上の松	同	大久保町	同	同	同
高砂の松	同	加古郡尾上村	天然紀念物	同	大正一三・三
明治天皇土山御小休所	同	同	同	同	同
會根の松	同	高砂町	同	同	同
明治天皇阿彌陀御小休所	同	同	史蹟	同	昭和一一・四
同	同	同	天然紀念物	同	大正一三・三
同	同	同	史蹟	同	昭和九・二
同	同	同	同	同	大正一〇・三

史蹟名勝天然紀念物

千松淡日八妙鶴但々玄生大芥明明圓明播
手帆路置代見山馬ジ馬武鳥石崎治天磨
の浦國村ののの鶴馬御火ホノ武鳥良の皇天
の慶野松並木榧櫛杉地浦ッ洞林址岩所所
松原木榧櫛杉地浦ッ洞林址岩所所

同同三多朝養出美城城同赤同同同同同
同同原紀來父石方崎崎同穗同同同同同
賀松原郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡
集帆帆郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡
村村村村村村村村村村村村村村

天然名同同同同同同同同同同同
紀念勝同同同同同同同同同同同
物勝勝勝勝勝勝勝勝勝勝勝

大正昭和大昭同大同同同同同同
一〇三和和和一三和正正正正正正
・三九二二二三三三三三三三三三三
三三三三三三三三三三三三三三三三



城路姫

國寶・國寶建造物

兵庫縣内には國寶・國建は多分に豊藏され全國府縣中第五位を占めてゐる。この遺物、遺構は先人の貽した文化のシンボルで、時代の寂と史的背景に彩られて今日なほ脈々として往時の様を偲ぶ事ができる。

今日これらを近代的な眼で見直すときは凡て新鮮な意義がある。吾人はこれらを巡覽鑑賞して、文化の精髓に觸れ靜かに時代の推移、人の動きを知るべきであらう。

本所 國寶建造物 (※印は國寶をも併有す)
興有別 國寶建造物
寺 國寶建造物
尼崎市別 國寶建造物
所 國寶建造物
開山堂、三光堂
名
稱

西宮神社	八幡神社	若王子神社	八幡神社	御靈神社	住吉神社	※高賣布神社	※太山神社	石峰神社	天津神社	※淨土神社	八幡神社	朝光寺	※一乘寺	※鶴林寺	※圓教寺	※彌勒寺	※溫泉寺	中島神社
------	------	-------	------	------	------	--------	-------	------	------	-------	------	-----	------	------	------	------	------	------

西宮市本町	武庫郡山田村	同	川邊郡西谷村	有馬郡貴志村	同	同	明石郡伊川谷村	美囊郡上淡河村	同	加東郡小野町	同	同	同	加西郡下里村	加古郡加古川町	飾磨郡曾左村	同	同	同	出石郡神美村
-------	--------	---	--------	--------	---	---	---------	---------	---	--------	---	---	---	--------	---------	--------	---	---	---	--------

本殿、表大門四脚門	塔婆(三重塔)	本殿	同	同	同	同	本堂、仁王門	中堂(藥師堂)、塔婆(三重塔)	本殿	本堂、藥師堂、淨土堂(阿彌陀堂)	拜殿、本殿	本堂	本堂	塔婆(三重塔)、妙見堂、辨天堂、護法堂	本堂、太子堂、鐘樓、護摩堂、常行堂	大講堂、鐘樓、金剛堂	本堂	本堂(大悲殿、別名圓通閣)	本殿
-----------	---------	----	---	---	---	---	--------	-----------------	----	------------------	-------	----	----	---------------------	-------------------	------------	----	---------------	----

※斑鳩寺	名草神社	八幡神社
------	------	------

養父郡八鹿町	水上郡柏原町	揖保郡斑鳩町	姫路市本町
--------	--------	--------	-------

塔婆(三重塔)	社殿	塔婆(三重塔)	姫路市本町
---------	----	---------	-------

國寶 (※印は國寶建造物をも併有す)

湊川神社	藥仙寺	眞光寺	德照寺	歡喜寺	福昌寺	福祥寺	能福寺	大龍寺	姫路神社	射楯兵主神社
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	--------

神戸市湊東區多聞通二	兵庫區南遊瀬川町二	同	同	同	同	同	同	同	同	同
------------	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

段威腹卷一領、紙本墨書法華經奧書一幅	絹本着色施餓鬼圖一幅	紙本着色遊行緣起十卷(詞行顯筆)	銅鐘一口	木造十一面觀音立像一軀	木造文殊菩薩坐像一軀、普賢菩薩坐像一軀	絹本着色普賢十羅刹女像一幅、木造十一面觀音立像一軀	十一面觀音立像一軀	木造菩薩立像(傳如意輪觀音像)	太刀銘包永一口	太刀銘定附華卷及中心斷片一口
--------------------	------------	------------------	------	-------------	---------------------	---------------------------	-----------	-----------------	---------	----------------

國寶

善福寺	清涼寺	淨橋寺	金心寺	小童寺	清澄寺	中山寺	無動寺	神呪寺	昌林寺	月照寺	柿本神社	櫻井神社	※本興寺
同	同	同	有馬郡三田町	同	同	川邊郡長尾村	同	武庫郡甲東村	西宮市今津町	同	明石市人丸山	同	尼崎市別所

〔木造日隆上人坐像一軀(傳淨傳作)、太刀銘恒次一口〕
 太刀銘守家持壽繪太刀一口
 〔後櫻町天皇宸翰短籍四十五葉、仁孝天皇宸翰及一座短籍四十九葉〕
 櫻町天皇宸翰及一座短籍(五十葉)一帖
 木造善導大師坐像一軀、木造阿彌陀如來立像一軀
 木造如意輪觀音坐像一軀、木造不動明王坐像一軀(不動堂安置)、木造弘法大師坐像一軀(大師堂安置)、木造聖觀音立像一軀(本堂安置)
 木造大日如來坐像一軀、木造釋迦如來坐像一軀、木造阿彌陀如來坐像一軀、木造不動明王坐像一軀、十一面觀音一軀
 木造十一面觀音立像一軀、木造藥師如來坐像一軀(藥師堂安置)、木造聖德太子坐像一軀(太子堂安置)、木造大日如來坐像一軀(地藏堂安置)
 絹本着色千手觀音像一軀、木造大日如來坐像一軀
 絹本着色阿彌陀二十五菩薩來迎圖一幅
 絹本着色十一面觀音像一軀、木造彌勒菩薩坐像一軀、木造不動明王立像一軀
 〔諸佛集會の繪ある黒漆厨子一基、木造波夷羅大將立像一軀〕
 木造聖德太子立像一軀

溫泉神社	明徳社	※高賣布神	多開寺	觀音堂	護國院	轉法輪寺	多開寺	※太山寺	伽耶院	※淨土寺
同	同	同	同	同	同	同	同	同	美囊郡志染村	加東郡小野町

絹本着色熊野曼荼羅圖一幅
 木造阿彌陀如來立像一軀
 木造狛犬一對
 〔木造毘沙門天立像一軀、木造吉祥天立像一軀、木造地藏菩薩立像一軀〕
 本造如意輪觀音坐像一軀
 木造持國天立像一軀、木造多聞天立像一軀
 木造阿彌陀如來坐像一軀
 〔木造藥師如來坐像一軀、木造日光月光菩薩立像二軀〕
 絹本着色不動童子像一軀、絹本着色兩界曼荼羅圖二幅、絹本着色釋迦三尊像一軀、絹本着色金剛經十六善神像一軀、絹本着色不動童子像一軀、絹本着色法華曼荼羅圖一軀、絹本着色染曼荼羅圖一軀、絹本着色白衣觀音像一軀、絹本着色十六羅漢像一軀、絹本着色觀音像一軀、木造阿彌陀如來坐像一軀、武器類(腹卷二、兜一、腰鉞三、輕當一、前立一)、紙本墨書妙法蓮華經三十二卷、紙本墨書大塔宮令旨及注進狀四通
 木造毘沙門天立像一軀
 絹本着色眞言八祖像八幅、絹本着色佛涅槃圖一幅、木造阿彌陀如來立像一軀、木造阿彌陀如來脇士立像三軀、木造重源坐像一軀、銅製五輪塔

※一 乘 寺 加西郡下里村

鶴 林 寺 加古郡加古川町

尾 上 神 社 尾上村

十 輪 寺 高砂町

長 樂 寺 印南郡西志方村

※圓 顯 寺 飾磨郡曾左村

神 積 寺 神崎郡田原村

岩 積 寺 同 豐富村

※斑 鳩 寺 揖保郡斑鳩寺

加 茂 神 社 同 室津村

見 性 寺 同 網干町

大 覺 寺 同 網干町

絹本着色聖德太子及高僧像十幅、絹本着色阿彌陀如來像一幅、絹本着色五大力吼像一幅、銅造聖觀音立像二軀

絹本着色聖德太子繪傳八幅、絹本着色聖德太子像一幅、絹本着色彌陀三尊像一幅、絹本着色惠大像一幅、木造釋迦三尊像一幅、絹本着色普立像一幅、木造鶴林寺扁額一面、銅鑄聖觀音立像一軀、木造觀音像一軀、木造天蓋一個、銅鑄一口、木造漆厨厨子一基

銅 鐘 一 口

絹本着色五佛尊像一幅

木造地藏菩薩半跏像一軀

木造毘沙門天立像一軀

木造釋迦如來及兩脇侍像三軀、木造四天王立像四軀

木造藥師如來坐像一軀

木造毘沙門天像

紺紙金泥釋迦三尊十六羅漢像五幅、絹本着色聖德太子繪傳八幅、絹本着色彌陀三尊像一幅、木造釋迦如來坐像一軀、木造藥師如來坐像一軀、木造如意輪觀音坐像一軀、木造日光菩薩立像二軀、木造十二神將立像八軀

神馬圖額二面(元信筆)

木造毘沙門天立像一軀

絹本着色釋迦三尊像三幅、絹本着色十六羅漢像十六幅

木造北條時賴坐像一軀

絹本着色迦伐蹉尊者像一幅、注茶半託迦尊者像一幅、木造不動明王立像一軀

絹本着色不動明王二童子像一幅

木造聖觀音立像一軀

絹本着色十六善神像一幅、木造十一面觀音立像一軀、木造聖觀音立像一軀

木造聖觀音立像一軀

紙本墨山水圖上段の間張付一切(三)及襖四枚(應舉筆)、紙本着色郭子煥義圖八枚(應舉筆)

紙本墨畫孔雀圖襖十六枚(應舉筆)、木造聖觀音立像一軀、木造十一面觀音立像一軀、木造觀音立像一軀

木造四天王立像四軀

脇指(但州住國光外に梵字あり)

絹本着色釋迦十六善神像一幅

木造十一面觀音立像一軀

紫紙金泥法華經八卷、紺紙金泥大威德陀羅尼經一卷(卷十六)

銅造十一面千手觀音立像一軀、木造藥師如來坐像一軀

絹本着色普應國師像一幅

最 明 寺 佐用郡三日月町

光 久 寺 同 安師村

文 常 寺 同 三河村

※溫 泉 寺 同 城崎町

帝 釋 寺 同 香住町

大 乘 寺 同 同

東 樂 寺 同 中筋村

出 石 神 社 出石郡神美村

黑 野 神 社 美方郡村岡町

相 應 寺 同 濱坂町

乘 寶 寺 同 水上新柏原町

常 勝 寺 同 同

高 源 寺 同 同

絹本着色普應國師像一幅

佛閣	寺名	宗派	本尊	所在地	備考
能	天上寺 (摩耶山)	古義眞言宗	十一面觀世音	神戸市灘區摩耶山	新西國第二十二番
	福壽寺	天臺宗	同	兵庫區北遊瀨川町	同 第二十三番
村	同				
同	尾上神社		表筒男命 外五	加古郡 尾上村	
同	大石神社		大石良雄 外五	赤穂郡 赤穂町	
同	生石神社		少彦名神 外一	同 阿彌陀村	
同	天滿神社		天穗鳴命 外二	印南郡 曾根町	
同	高砂神社		素盞鳴命 外二	加古郡 高砂町	
同	柿本神社		柿本大神 外三	明石市 人丸山	
同	西宮神社		西宮大神 外三	西宮市 社家町	
縣	多田神社		源類義 外四	川邊郡 多田村	
別格官幣社	湊川神社		贈正一位橘朝臣正成公 外一八	神戸市 湊東區多聞通二	
同	出石神社		出石八前大神	出石郡 神美村宮内	
國幣中社	伊和神社		大己貴神 外二	宍粟郡 神戸村伊和	
同	海神社		底津綿津見神 外三	明石郡 垂水町	
同	長田神社		事代主神	同 林田區長田町三	
官幣中社	生田神社		稚日女尊	津名郡 多賀村	
官幣大社	伊弉諾神社		伊弉諾尊	神戸市 神戶區下山手通	

佛閣	寺名	宗派	本尊	所在地	備考
	福祥寺 (須磨寺)	古義眞言宗	觀世音菩薩	同 須磨區須磨寺町	同 第二十四番
	大龍寺 (再度山)	同	如意輪觀世音	同 神戸區再度山	同 第二十四番
	本興寺	大本門法華宗	多寶如來	尼崎市 開明寺	
	滿願寺	古義眞言宗	釋迦如來	川邊郡 多田村	新西國第十一番
	中山寺 (紫雲山)	眞言宗御室派別格本山	千手觀世音	同 長尾村	西國第二十四番
	神呪寺 (甲山)	古義眞言宗	十一面觀世音	武庫郡 甲東村	新西國第二十一番
	花山院 菩提寺	同	如意輪觀世音	有馬郡 三輪町	巡禮開山
	太山寺	天臺宗	阿彌陀如來	明石郡 伊川谷村	新西國第二十五番
	鶴林寺 (刀田山)	同	藥師如來	加古郡 加古川町	新西國第二十七番
	伽耶院 (大谷山)	同	毘沙門天	美嚨郡 志染村	省線社寺券發賣
	淨土寺	古義眞言宗	藥師如來	加東郡 小野町	新西國第二十六番
	一乘寺 (法華山)	天臺宗	如意輪觀世音	加西郡 下里村	西國第二十六番
	清水寺 (御獄山)	同	十一面觀世音	加東郡 鴨川村	同 第二十五番
	光明寺 (五峰山)	古義眞言宗	千手觀世音	同 瀧野町	新西國第二十八番
	酒見寺 (泉生山)	同	十一面觀世音	加西郡 北條町	同 第二十九番
	圓教寺 (書寫山)	天臺宗	如意輪觀世音	飾磨郡 曾左村	西國第二十七番
	金剛城寺 (七種山)	古義眞言宗	十一面觀世音	神崎郡 福崎町	新西國第三十番
	琉璃寺 (船越山南光坊)	同	釋迦如來	宍粟郡 三河村	同 第三十三番
	斑鳩寺 (鶯の太子)	天臺宗	如意輪觀世音	揖保郡 斑鳩町	同 第三十二番

温泉

花岳寺 (豪雲山)	曹洞宗	釋迦如來	赤穂郡 赤穂町	〔新西國第三十一番 省録社寺券發賣〕
温泉寺	古義眞言宗	十一面觀世音	城崎郡 城崎町	
大乘寺 (應舉寺)	同	同	同 香住町	淡路西國第一番
千光寺 (先山)	同	千手觀世音	津名郡 洲本町	



城崎温泉泉

温泉

本縣にも他府縣に決して劣らない名泉が各所に散在してゐる。古來天下三泉の一といはれ惠まれた景色と品位をそなへ、大谿川に抱かれた瀟洒なスパリゾート城崎、春木川の溪流に臨む静かな山峽の温泉郷湯村、武庫川畔に咲く麗はしの湯の街寶塚、そして幽谷の温泉郷武田尾、その他隠れたる靈泉が多い。俗悪な都會生活から逃れて温泉情緒を味ふのもまた格別であらう。

名稱

所在地

交通順路

泉質

有馬温泉	有馬郡 有馬町	〔神有電車有馬温泉 福知山支線有馬驛〕	食鹽アルカリ性炭酸含 鐵濃厚鹽類泉
城崎温泉	城崎郡 城崎町	山陰線 城崎驛	アルカリ性鹽類泉
湯村温泉	美方郡 温泉町	〔同 濱坂驛 バスの便あり〕	炭酸泉
寶塚(新)温泉	〔川邊郡 小濱村寶塚 武庫郡 良元村寶塚〕	阪急電車寶塚又は福 知山線寶塚驛	食鹽アルカリ性炭酸泉
武田尾温泉	有馬郡 鹽瀬村	福知山線 武田尾驛	單純泉
鹽田温泉	飾磨郡 鹽村	姫路驛(省線、山陽 電鐵)バスの便あり	含鹽炭酸泉
龍山温泉	印南郡 伊保村	山陽電鐵伊保驛○七軒	含鐵炭酸泉
國領難波温泉	水上郡 國領村	〔福知山線 黒井驛 バスの便あり〕	同 (ラヂウム 一九六マツヘ)

温泉

公園・遊園地

福江郡	津名郡	淡路郡家	(兵庫より八五錢、大阪より一圓)
良井家	同 江井町	同 江井	(同)
	三原郡	同 福良	(洲本よりガソリンカー及バスの便あり)



明石公園

公園・遊園地

數多い公園の内で天下に誇るものに明石、舞子、姫路の姫山及須磨浦公園がある。
 明石公園は白堊の錦江城に擴る宏壯な近代的名園、舞子は枝振のよい老松で知られた古來の名所、姫山公園は國寶姫路城を背景に春は櫻で賑ひ、須磨浦公園は須磨の西はづれ素晴らしい展望美の山上公園である。

名	稱	所在地	交通順路	備考
會下山	遊園地	神戸市會下	市電 上澤通四丁目	櫻・ツ、ジの名所
須磨寺	遊園地	同 西須磨	同 山陽電鐵 須磨寺	櫻の名所
再度	公園	同 再度山	市電、神戸バス中山手三丁目よりバスの便あり	ボートハウス
須磨浦	公園	同 西須磨	市電、バス須磨終點	櫻・ツ、ジの名所、觀光ハウスあり
東遊園	地	同 加納町六	市電 瀧道	運動場
湊川	公園	同 湊川新開地	同 湊川公園	楠公銅像、水族館等あり
諏訪山	遊園地	同 山本通四	同 下山手四丁目	櫻の名所、野球場
縣立明石	公園	明石市 大明石町	山陽電鐵 明石驛前	納涼、海水浴場
明石中崎	遊園地	同 相生町	山陽電鐵 明石驛前	松の名所
縣立舞子	公園	明石郡 垂水町舞子	山陽電鐵 舞子公園	櫻の名所、小動物園
姫山	公園	姫路市 元町	山陽電鐵 姫路驛前	西北一軒、温泉あり
苦樂	公園	同 宮市	阪急電車 苦樂園	萩・薄の名所
甲陽	公園	同 同	同 甲陽園	櫻・紅葉の名所
武庫川	遊園地	武庫郡 大庄村	阪神電車 武庫川	櫻・紅葉の名所
鼓ヶ瀧	遊園地	有馬郡 有馬町	神有電車 有馬温泉 福知山支線 有馬驛	櫻・紅葉の名所

公園・遊園地

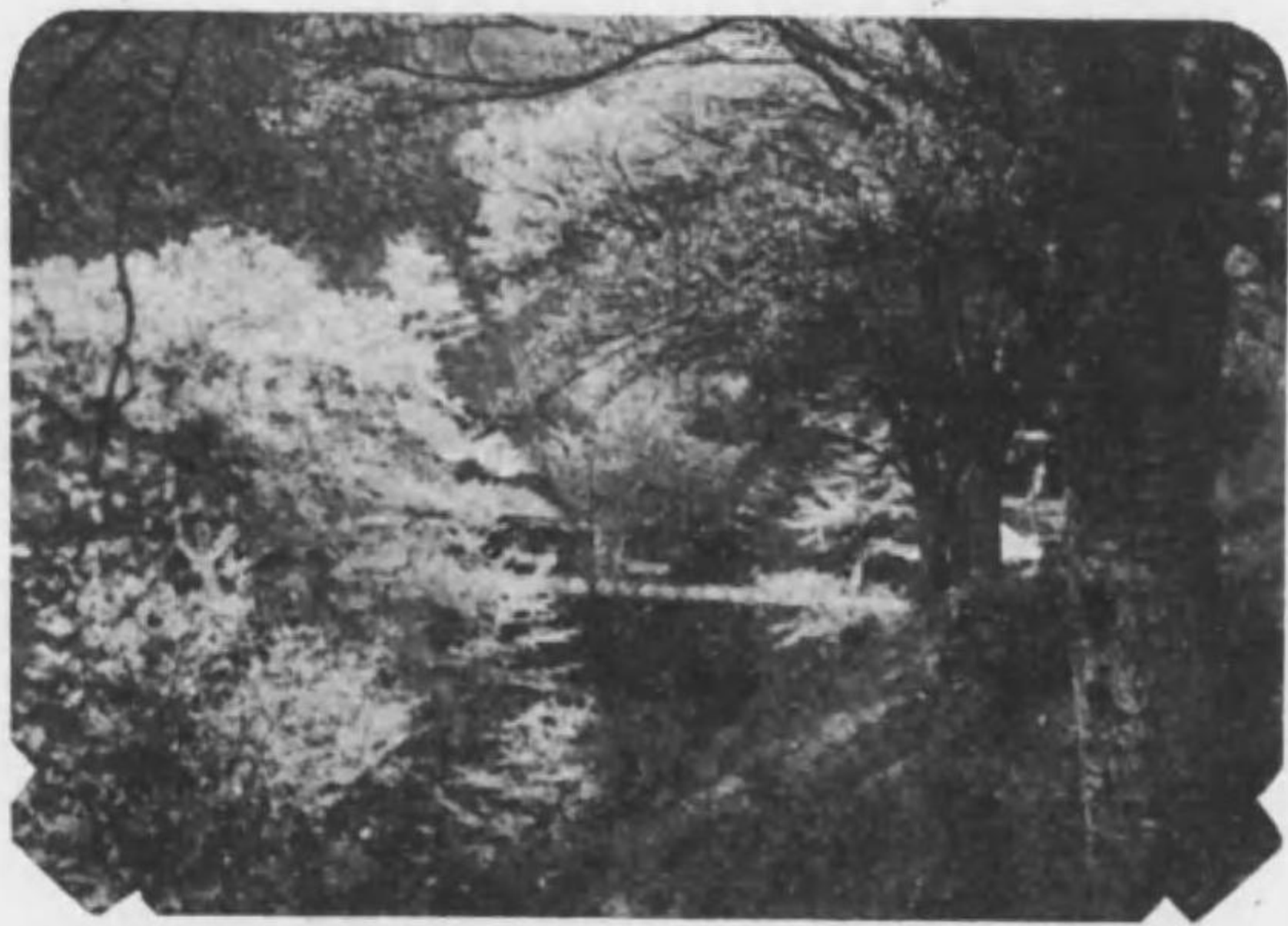
公園・遊園地

濱の宮遊園地	加古郡尾上村	山陽電車 濱の宮	松の名所、運動場
龍野公園	揖保郡龍野町	姫新線 本龍野驛	櫻・紅葉の名所、本龍野驛及姫路よりバスの便あり
東山公園	城崎郡城崎町	山陰線 城崎驛	櫻の名所
瀬戸日和山公園	同 港村瀬戸	同 同	水族館
岡見公園	同 香住町	同 香住驛	バスの便あり
王地山公園	多紀郡篠山町	福知山線篠山驛乗換篠山鐵道篠山町驛	櫻・紅葉の名所
三熊公園	津名郡洲本町	大阪天保山より一回り二〇錢、兵庫突堤より一回り	櫻の名所
淺野公園	津名郡淺野村淺野	大阪天保山、築港、兵庫突堤より富島南方二軒	櫻の名所
鳴門遊園地	三原郡福良町	大阪天保山、兵庫突堤より福良又は淡路洲本よりガソリンカー、バスの便あり	

二四

櫻の名所

目も綾な麗春の表情美は櫻と人とのモンタージユにある。
 花見はどこへ？ などと迷ふ必要もないほどに縣下には櫻の名所が多い。花は須磨・明石・姫路からさらに杖を曳いて竹田立雲峽・柏原鐘ヶ坂と川代……………。
 人の世のすべてが「花」一つに集つて、まこと花ならではの
 繚亂たる春だ。



園公坂ヶ鐘原柏

名	稱	所在地	交通	順路
須磨寺	遊園地	神戸市須磨區	〔省線須磨驛、市電市バス天神下、神戸バス須磨寺前、山陽電鐵須磨寺〕	
青谷	遊園地	同 灘區	省線灘驛、市バス青谷	
櫻の名所				

二五

八幡公園	三原郡	川上郡	篠山	新田	出石	朝來	生野	龍野	大鹽	清水	有馬	寶塚	武庫川	人丸	明石	姫山	九山	會下	摩耶	
園	園	代山	堤	坂	山	峽	園	園	櫻	寺	泉	塚	地	山	園	園	園	園	地	山

三原郡	津名郡	氷上郡	多紀郡	同	氷上郡	出石郡	同	朝來郡	揖保郡	印南郡	加東郡	有馬郡	武庫川郡	同	明石市	姫路市	同	同	神戸市
賀集村	洲本町	上久下村	篠山町	黒井町	柏原町	出石町	竹田町	生野町	龍野町	大鹽町	鴨川村	有馬村	良元村	鳴尾村	石市	林田区	兵庫区	灘区	兵庫区

神戸市内から市バス、ケーブル連絡
 省線神戸駅又は兵庫驛下車、市電バス上澤四丁目
 市バス丸山遊園、神有電車鷹取道
 省線姫路驛又は山陽電車姫路驛前、バスの便あり
 省線明石驛、山陽電鐵明石驛前
 省線明石驛及山陽電鐵明石驛前より○・九軒
 山陽電鐵八戸前より○・二軒
 阪神電車武庫川
 阪急電車寶塚、福知山線寶塚驛
 福知山線有馬支線有馬驛、神有電車有馬温泉
 福知山線相野驛、山陽線加古川驛乗換播鐵社驛下
 車、何れもバスの便あり
 山陽電 鐵 大 鹽
 姫新線 本龍野驛
 播但線 生野驛
 同 竹田驛一・三軒
 山陰線 江原乗換出石驛
 福知山線 柏原驛三軒
 同 黒井驛
 福知山線、篠山驛乗換篠山町驛又は篠山驛よりバ
 スの便あり
 福知山線 下 湊 驛
 洲本港(兵庫より一圓、大阪より一圓二〇錢)
 洲本より淡路鐵道御陵東驛○・七軒
 洲本よりバス八幡下



廣田山の郷

つゝじの名所

阪神沿線廣田山は樹高三米に餘るもの四萬株、春は近郊稀に見る盛観である。須磨浦公園を埋める源平つゝじも美しく、杖を俣馬に曳けば兎和野の大高原は桃色で氾濫してゐる。その他下界の落花をよそに咲く六甲山のつゝじも見事である。

六甲山	廣田山
-----	-----

神戸市灘區	西宮市廣田山
-------	--------

阪神電車西宮東口又は東海道線西宮驛バスの便あり
 阪神新在家、阪急六甲より市バス連絡ケーブル又はロープウェイで山上へ

紅葉の名所

須磨の浦公園 神戸市須磨區
 會下山遊園 同 兵庫區
 兎和野ヶ原 美方郡村岡町
 芦屋天神山 武東郡精道村

市電、バス須磨終點、山陽電鐵神明バス敦盛塚
 市電、バス上澤通四丁目
 山陰線八鹿驛、途中までバス、さらに徒歩二軒
 阪急電車芦屋川

紅葉の名所

一と時雨ごとに深みゆく晩秋の山野をあやに彩る紅葉は實に自然が贈る最後の饗宴であり東洋的自然美の極致である。殊に常緑樹に絢爛として點彩する紅葉に漙漙な四阿の點景など南畫に見るやうな好ましい色調のニューアンスだ。縣下には神戸に禪昌寺・十善寺あり、六甲・有馬・明石もよく、僻邊の地だが西播の祕境赤西晋水溪は徒らに山溪紅に燃へ丹波高源寺に杖を曳けば峰より谷へ織なす錦繡、古塔にかゝる紅葉の趣は名狀し難いものがある。

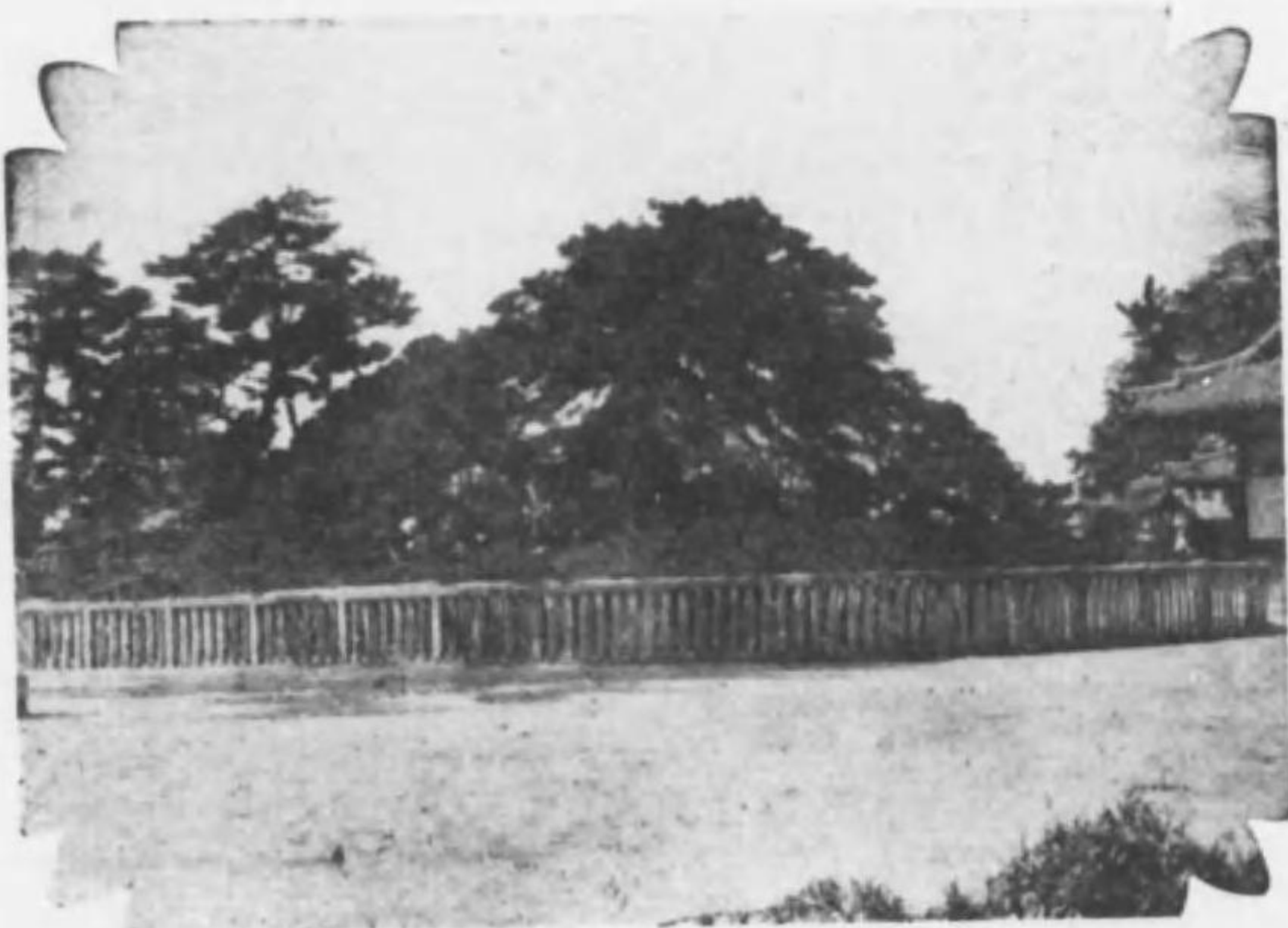


有馬温泉泉

名	稱	所在地
十善	寺	神戸市灘區
摩耶	山	同
禪昌	寺	同 須磨區
有馬瑞寶	寺	有馬郡有馬町
有馬鼓ヶ瀧	寺	同
書寫山圓教	寺	飾磨郡曾左村
赤西晋水	溪	宍粟郡奥谷村
高源	寺	水上郡神樂村
王地山公園	園	多紀郡篠山町

交通 阪急電車六甲東北一・一軒、市バス六甲阪急前
 神戸市内より、山上までバス・ケーブルの連絡あり
 {山陽電車板宿北〇・六軒又は市バス禪昌寺前
 神戸バス板宿下車
 神有電車有馬温泉、福知山支線有馬驛
 同
 {山陽線姫路驛よりバスの便あり
 姫新線餘部驛東北一軒
 姫路驛(省線、山陽電鐵)よりバスあり
 福知山線石生驛西北二〇軒途中までバスあり
 同 篠山驛乗換篠山鐵道篠山町驛

紅葉の名所



(物念紀然天) 松の根曾

松の名所

花の粧ひはなくとも萬代不易、志操かたく不言のうちにか
を教へてゐる。
兵庫縣ことに播州ほど松の名所の多いところはあまりない。
まづ舞子公園の枝幹蟠屈千姿萬態の妙趣ある老松を始め、翁姥
の姿めでたい尾上と高砂の相生靈松や曾根の松、淡路では蜿蜒
實に五キロわが國第一の國道松並木、面積三十萬坪の慶野松原
と千手の巨松などがある。

名	舞子公園	濱宮大松林
所在地	明石郡垂水町	加古郡尾上村
交通	省線舞子驛下車、山陽電鐵舞子公園	山陽電鐵濱宮
備考		

尾上の松	同	同	同	尾上神社境内
高砂相生の松	同	高砂町	同	尾上神社境内
別府の手枕松	同	別府町	山陽電鐵別府北口南〇・七軒	高砂神社境内
曾根の松	同	印南郡曾根町	山陽電鐵曾根、省線曾根驛	天滿神社境内
大石名残の松	同	赤穂郡赤穂町	赤穂鐵道赤穂驛	天岳寺境内
千手の松	同	三原郡賀集村	淡路鐵道賀集驛	天然紀念物
淡路國道松並木	同	同	同	同
慶野松原	同	同	同	同

苺狩

緑の葉蔭からつぶらな紅玉の姿態を覗かせてゐる苺はまさに初夏の舌端に躍る味覺の寵兒だ。

阪神沿線鳴尾の苺は産額約五十萬貫、金額にして十數萬圓に上り各地の苺黨を喜ばせ全國一の苺王國である。過ぐる年の風水害で大きな痛手を蒙つたが案内所や「苺の家」の建設など凡ゆる施設を講じて遊覽客を迎へてゐる。



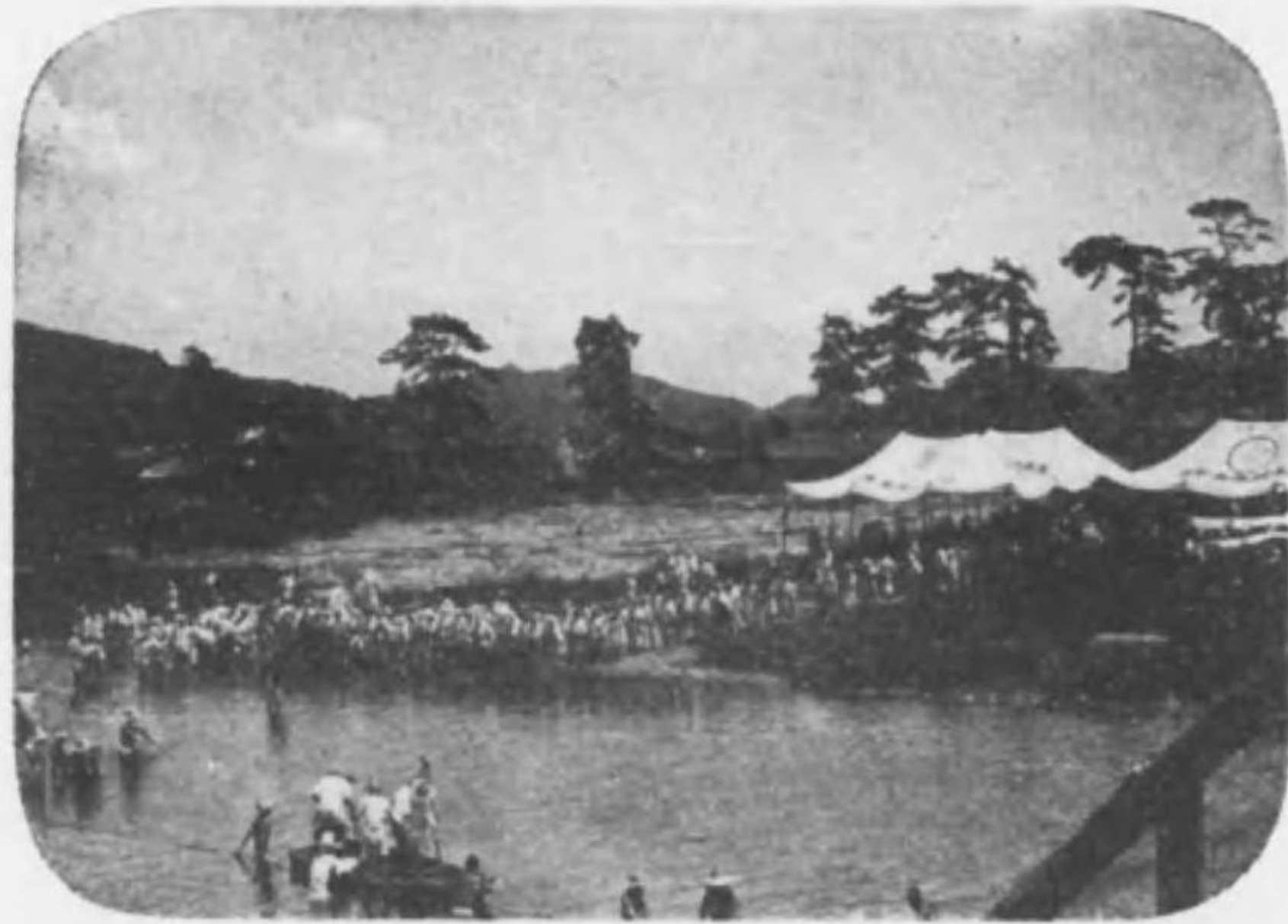
鳴尾の苺狩

名	稱	所在地	交通順路
鳴尾	二	武庫郡鳴尾村 有馬郡有野村	阪神電車鳴尾 神有電車二郎

五色山、歌敷山
太寺、上ノ丸

明石郡垂水町
明石市

山陽電鐵五色山、歌敷山
山陽線明石驛、山陽電鐵人丸前



揖保川の鮎狩

鮎狩

清流を蔽る若鮎、きらりと光る白銀の梭のやうなその風姿、若鮎こそは夏のよき伊達者だ。

清流に糸をたれる太公望の群列、さつと散る投網の描く弧線ファンはおもひ／＼に遠征を試みることであらう。

所 在 地

有馬郡鹽瀬村、道場村

加東郡瀧野町

揖保郡龍野町、新宮町

尖栗郡山崎町

赤穂郡上郡町

〔養父郡八鹿町、
城崎郡日高町〕

朝來郡竹田町

城崎郡香住町

美方郡温泉町、大庭村

交 通 順 路

〔福知山線寶塚驛、武田尾驛、道場驛、生瀬驛附近〕

〔山陽線加古川驛乗換瀧驛〕

〔山陽電鐵二見より瀧までバスあり〕

〔姫路驛(省線、山陽電鐵)より龍野新宮へ、
バス又は姫新線本龍野驛、新宮驛〕

〔姫路驛(省線、山陽電鐵)よりバスの便あり〕

山陽線 上郡驛附近

山陰線八鹿驛、江原驛

播但線竹田驛

山陰線香住驛

同 濱坂驛よりバスの便あり

武庫川上流

加古川上流 (關龍灘)

揖保川

同 川

千種川

圓山川

朝來川

矢田川

岸田川

飛 瀑

九天に跳る水晶簾の濛々たる雲煙を浴びると確かに涼味三斗、しかも白簾のあるところ必ず野趣豊かな溪谷あり。
苦熱を逃れて溪間に螢火を追ひ、河鹿の金鈴を聴いて俗腸を濯ぐのも夏日に味ふ樂みである。



布 引 瀧

名 稱

所 在 地

交 通 順 路

備 考

布引の瀧

神戸市葦合區

神戸市電、バス布引

〔雄瀧 一四・九丈
雌瀧 六・九丈〕

六甲四十八瀧

同 灘 區

〔六甲山上遊覽バス東六甲、神有電車六甲登山口よりバスの便あり〕

七種の瀧

神崎郡福崎町

播但線福崎驛七軒

高二一丈

天龍瀧

養父郡西谷村

山陰線養父驛よりバスの便あり

高四〇丈

猿尾瀧

美方郡兔塚村

同 八鹿驛よりバスの便あり

高三〇丈

飛 瀑

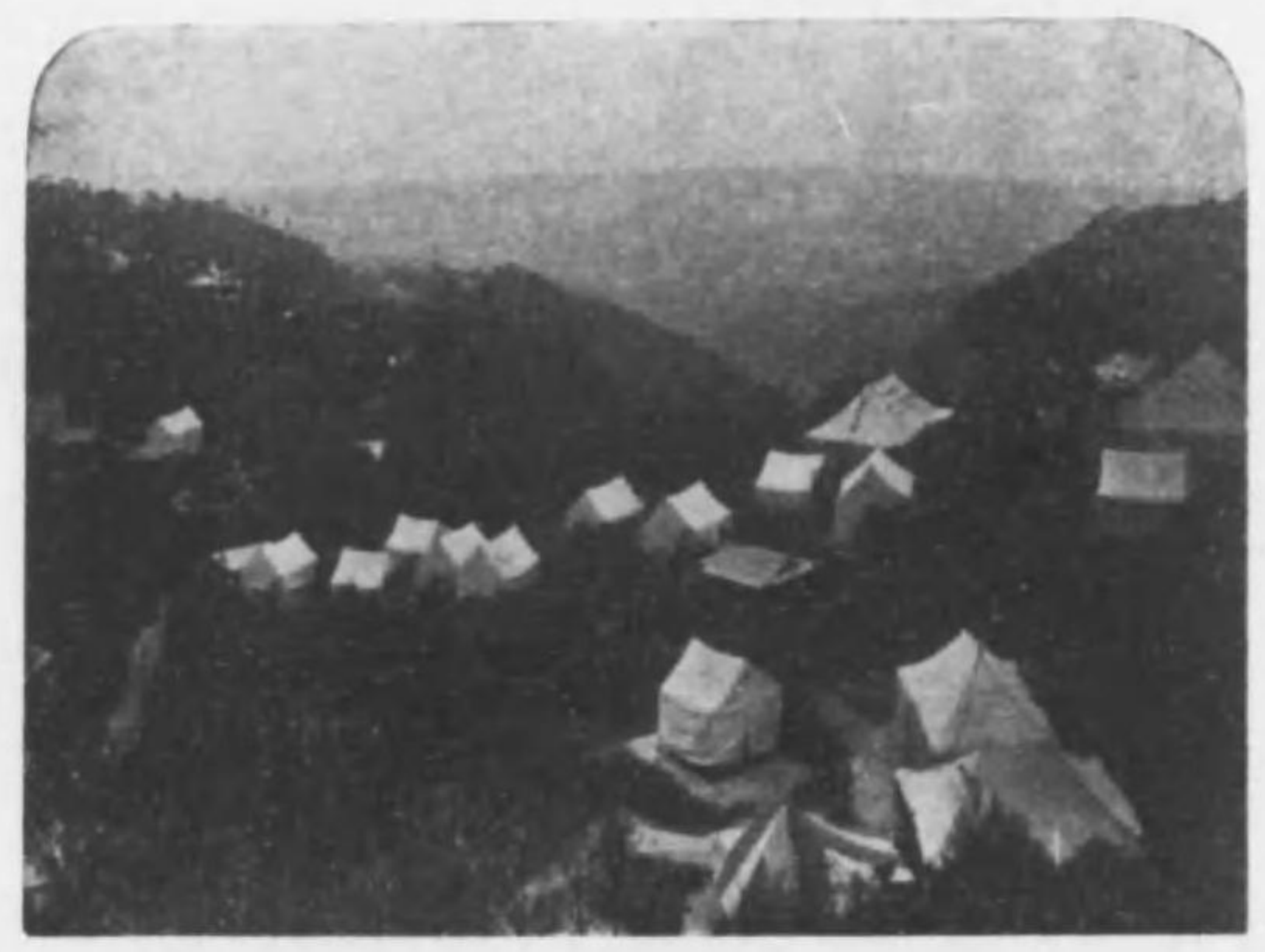
同 香住驛よりバスの便あり

八 反 瀧
 鮎 屋 ノ 瀧

城崎郡 清瀧村
 三原郡 廣田村

山陰線江原驛よりバスの便あり
 淡路鐵道廣田驛よりバスの便あり

三六
 高一〇丈



六 甲 山

キャンプ

キャンプもやはり夏のものである。涼を趁ふて高原へ、林間へ或ひは靜かに脈打つ紺碧の海濱へ家族連れ、氣の合つた友だちとキャンプを張つて原始的生活に歸るのも絶好の銷夏法で悠久なる大自然への憧憬にわれわれの胸は限りなく躍動する。

名 稱

六甲山テント村
 六甲奥池と菅屋川上流
 摩耶山
 布引瀧の奥地ツエント
 イクワロツス附近
 武庫川上流
 兎和野ヶ原
 葛蒲澤と遠磨峰
 淡路岩屋
 洲本海岸
 慶野松原
 沼島
 由良遊園地
 須磨の浦
 濱ノ宮松原
 濱坂菅屋海岸

所 在 地

神戸市 灘 區
 西宮市、武庫郡 精道村
 神戸市 灘 區
 同 葦合 區
 有馬郡 鹽瀨村、道場村
 美方郡 村岡町
 朝來郡 生野町
 津名郡 岩屋町
 同 洲本町
 三原郡 松帆村
 同 沼島村
 津名郡 由良町
 神戸市 須磨區
 加古郡 尾上村
 美方郡 濱坂町

交 通 順 路

〔阪神電車新在家、阪急電車六甲よりバスの便あり
 更にケーブルカー又はロープウェイにて山上へ
 阪急電車苦樂園、阪急電車菅屋川
 神戸市内より市バス、ケーブルにて山上へ
 市電バス布引三軒
 福知山線生瀨、武田尾、道場驛
 〔山陰線八鹿驛、驛前より途中までバスの便あり
 更に二軒
 播但線 生野驛
 明石より汽船二五錢、兵庫突堤より汽船五五錢
 兵庫突堤より汽船八五錢
 〔兵庫突堤より湊まで汽船一圓二〇錢、さらにバ
 ス九錢
 兵庫突堤より汽船一圓二〇錢
 兵庫突堤より汽船一圓一五錢
 省線須磨驛、山陽電車敦盛塚
 山陽電鐵 濱 宮
 山陰線 濱坂驛

キャンプ

登山

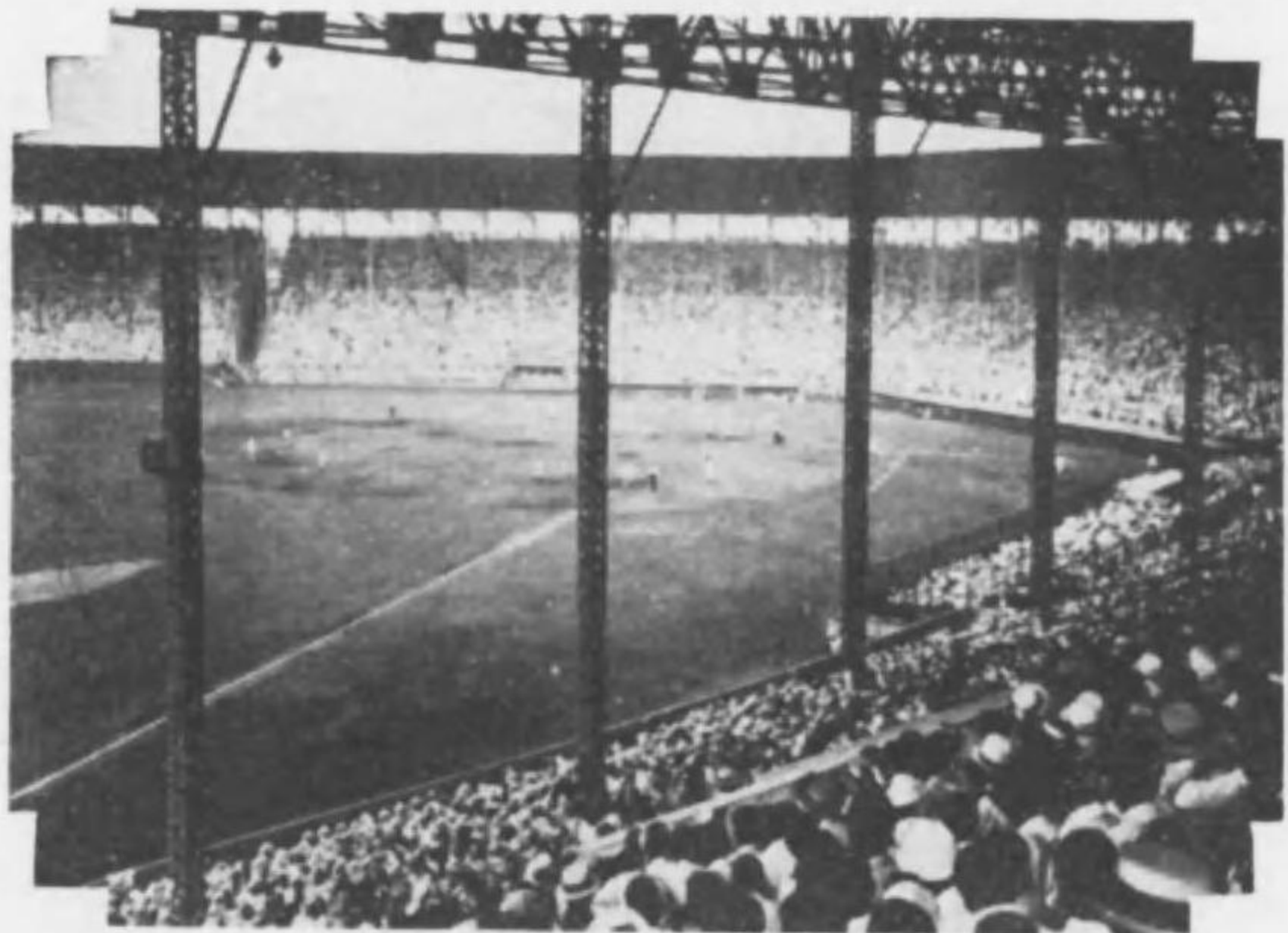
登山は季節をえらばない。夏山もよい、冬山もよい。しかし満目炎上、増埒裏の世界に喘ぐとき思ひ出されるはかの塵外の仙境ではなからうか。本縣には低山ばかりで本格的登高の興味は望めないが、たとへ手輕な登攀であるにしてもアルピニストに尊い感銘と教訓をあたへ、独自の優逸性や特殊のカラーは隨所に横溢してゐる。



雪彦山

名	稱	所在地	海拔	交通順路
六	甲	神戸市灘區	九三二米	阪神電車新在家、阪急電車六甲、市バス連絡ケーブル・ロープウェイにて山へ
摩	耶	葦合區	六九九米	市バスケーブル下ケーブルカーの便あり
再	度	神戸區	四六八米	市電下山手六丁目、バス再度筋
鷹	取	須磨區	三二九米	山陽線鷹取驛、山陽電鐵西代
鐵	拐	同	二三八米	市電バス須磨終點、山陽電鐵敦盛塚

鉢	代	同	二四六米	山陽電鐵敦盛塚
七	種	神崎郡福崎町	六八一米	播但線福崎西北七軒
笠	形	同 栗賀村	九三九米	同 寺前驛約八軒自動車五〇錢
雪	彦	飾磨郡鹿谷村山之内	八八四米	山陽線姫路驛より山麓迄バスの便あり
音	水	宍粟郡奥谷村	一三〇〇米	姫路驛前(省線山陽電鐵)よりバス二時間半一圓七五錢
妙	見	養父郡八鹿町	一一四二米	山陰線八鹿驛より一三軒途中迄バスの便あり、登山口日畑より山頂へ六軒
水	の	美方郡熊次村	一五一〇米	山陰線八鹿驛より途中迄バスの便あり、登山口福定より山頂へ六・五軒
先	の	津名郡洲本町	四七〇米	淡路鐵道先山驛、洲本よりバスの便あり
論	鶴	三原郡澁村	六一〇米	同 市村驛東八軒



甲子園野球場

運動場

本縣は近來かなり運動設備が充實されたが何といつても甲子園は關西人にお馴染なところだ。そこには四季を通じて凡ゆるスポーツが行はれ恰も綜合運動王國の感がある。殊に野球場は東京神宮球場と共にわが國の横綱格、春夏の中等野球は觀衆十數萬、關西切つてのスポーツ行事である。また阪急西宮球場、神戸市民運動場、寶塚もよく完備したスポーツの殿堂である。

名 稱 所 在 地

神戸市民運動場

神戸市林田區蓮池

交 通

神戸バス、運動場前、市電、長田交又點、山陽電鐵、西代

設 備

野球場、テニスコート、フール、陸上競技場(蹴球場)

神戸東遊園地
寶塚運動場
阪急西宮球場
甲子園運動場
明石公園運動場
濱の宮運動場

同 神戸區居留地
川邊郡小濱村
西宮市
武庫郡鳴尾村
明石市
加古郡尾上村

市電、瀧道、税關前、福知山線、寶塚、阪急電車、同、阪急電車、西宮北口、阪神電車、甲子園、南甲子園、山陽電鐵、明石驛前、山陽電鐵、濱の宮

野球場、テニスコート、蹴球場、野球場、テニスコート、陸上競技場(蹴球)、野球場、野球場、テニスコート、陸上競技場(蹴球)室内、野球場、テニスコート、陸上競技場

競馬場

ラッシュユ！もつれあふ駿足、躍進する馬身！ 凄じい速力の享樂だ。スピードを賭ける競馬の流行は軍事、産業上缺くべからざるものであると共に近代人の氣持にピッタリとあひ縣下には傳統を誇る日本のダービー鳴尾をはじめ草競馬に園田、明石がある。(春秋二季開催)



鳴尾競馬場

名 稱
阪神競馬場(公認)
園田競馬場(地方)
明石競馬場(地方)

所在地
武庫郡 鳴尾村
川邊郡 園田村
明石郡 林崎村
(大久保町)

馬場の周圍
二、〇〇〇米
一、〇〇〇米
一、〇〇〇米

交通順路
阪神電車鳴尾南〇・八軒
阪急電車園田、バスの便あり
山陽電鐵藤江

スキー場



神鍋山スキー場

くしき迄に清純な曠野の麗粧、白一色に輝く銀嶺の壯嚴。叫べ、シーハイル。但馬。印せ但馬にシユプールを、但馬こそ最も手近なスキー王國といふべきか！
神鍋、鉢伏、氷の山、但馬高原、兎和野、城崎、湯村、六甲……何れも冬は峰から麓へ緩急曲折のある銀嶺群だ。
冬山の王者但馬アルプスは高らかに呼びかく！

名 稱
神鍋山

所在地
{城崎郡 西氣村
同 清瀧村}

交通順路
山陰線江原驛より栃本迄九軒、バス三〇分四〇錢、栃本より太田を経て徒歩三七軒四分、栗栖野を経て三五軒一時

スキー場

鉢伏山	美方郡 熊次村
水の山	同 同
但馬高原	養父郡 日大屋村
湯村・鐘尾	美方郡 温泉町
三室山	宍粟郡 千種村
西播上野	宍粟郡 西谷村
六甲山	神戸市 灘 區
城崎	城崎郡 城崎町
杉ヶ澤	美方郡 熊次村
兎野	美方郡 村岡町
村岡	同 同
蘇夫岳	同 同

四四

山陰線八鹿驛より葛畑まで一九軒バス一時間七〇銭、葛畑より別宮を経て頂上まで徒歩六軒三時間、また鹿倉口より福定、大久保を経て山頂まで九軒四時間
 山陰線八鹿驛より鹿倉口まで一八軒バス四五分七〇銭、鹿倉口より福定、山越を経て頂上へ一八軒五時間、項上より三の丸を経て鳥取縣若櫻へ出るのもよい
 山陰線養父驛より龍涎の瀧下迄バス四分五〇銭、更に大明小屋まで一軒、大日小屋まで一・七軒
 山陰線濱坂驛より湯村温泉迄バス三分三・五銭、さらに湯村へ二軒、鐘尾へ一軒、濱坂より鐘尾へ直通バス五分五〇銭
 姫新線徳久驛バスの便あり更に徒歩四軒
 姫路驛より上野迄五二軒 バス山崎を経て二時間三〇分一圓四五銭 上野よりスキー場まで徒歩一時間二・五軒
 阪神電車新在家、阪急電車六甲より市バス連絡ケーブルロープウェイで山上へ
 山陰線城崎驛〇・五軒、第二スキー場迄バス一〇銭
 山陰線八鹿驛より出合迄二二軒バス一時間二〇分六五銭 出合より徒歩三軒
 山陰線八鹿驛より市原までバス一時間二〇分、市原より頂上迄二軒
 山陰線八鹿驛より村岡迄バス一時間半一圓、スキー場へすぐ
 村岡スキー場より徒歩四軒、二時間半

スキー場

射添	同 射添村
小代	同 小代村

ツツと、なめらかな銀盤の上に軽く描かれてゆく美しい弧線、風を截つて迂るスピードの壯快味はスピードの快味とスリルの興奮を追ふ近代人の運動分野に新しい大きな存在を示してきた。

六甲には八代池・三國池など二十餘の池があり、これらの池はすべて絶好のリンクをわれらに提供する。
 また扇港には室内リンクの殿堂があり四季を通じて滑走亂舞の観をつくす事ができる。



六甲山スキー場

スキー場

四五

名	稱	所在地	水上面積	交通
六甲山	スケート場	神戸市灘區	八代池、三國池其他約二〇	阪急電車六甲、阪神電車新在家市バス連絡、ケーブルカー又はロープウェイにて山上へ
楽樂館	スケート場	同 湊川新開地	約 四〇〇坪	市電、バス新開地



ス ク ン リ フ ル ゴ 野 廣

ゴルフリンクス

ゴルフがスコットランドに生れてよりこゝに五百年、新しいやうで随分古いスポーツだ。そして六甲は我國ゴルフの發祥地として知られてゐる。

俗塵を避けて降り瀝々陽光を浴び乍ら波斯毛氈を敷きつめたやうな緑の芝生、鬱々たる森、谷、池等千變萬化の自然に悠々白銀の球を打ちゆくスポーツ三昧はゴルフアーのみに恵まれた怡悦である。

そして今日の清遊は明日の活動に生きるべき健康と幸福との無限の供給場である。縣下には廣野をはじめ猪名川・六甲・寶塚其他優秀なリンクスや、民衆的公開リンクスがある。

名	稱	所在地	交通	順路	ホール	ヤード	開場及設計者	平日	土曜	休祭日
六甲山	ゴルフ場	神戸市灘區六甲山上 (電話二七五)	阪急電車六甲、阪神電車新在家ヨリ市バス連絡 ケーブル車で山上へ	六	四、〇〇〇	明治三二年 グルーム	二、五〇	二、五〇	五、〇〇	
廣野	ゴルフ場	宍粟郡志美村廣野 (電話一四六)	神有電車三木線ゴルフ場前	六	六、七五〇	昭和五、六、九 C・H・アリソン	五、〇〇	七、〇〇	一五、〇〇	
猪名川	ゴルフ場	川邊郡東谷村 (電話一四一)	阪急電車寶塚能勢口下車 自動車二五分	八	六、五〇〇	昭和五、〇、三 H・O・クレイン	三、〇〇	五、〇〇	一〇、〇〇	
寶塚	ゴルフ場	武庫郡良元村 (電話二六七)	阪急電車逆瀬川下車 バス五分	八	六、八〇〇	大正一五、八、一五 福井、豊治 廣岡久右衛門	三、〇〇	四、〇〇	五、〇〇	
鳴尾	ゴルフ場	武庫郡鳴尾村 (電話一七三二)	阪神電車鳴尾下車 自動車一〇分	九	三、二〇〇	大正九 W・J・ロビンソン	三、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	
三田	ゴルフ場	宍粟郡三田町三輪字上野 (電話二四六)	神有電車、福知山線 三田驛下車 自動車五分	八	五、二五〇	昭和三、四、五 佐藤滿	二、〇〇	二、〇〇	五、〇〇	
甲南	ゴルフ場	武庫郡魚崎町橋屋 (電話二二二)	阪神電車青木下車 徒歩五分	六	一、一六〇	明治六 ロビンソン	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	
舞子	ゴルフ場	明石郡垂水町 (電話一〇五)	山陽電線、山陽線 垂水驛下車 バス一〇分	九	二、四六〇	大正九	一、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	

ダンスホール

美しい音律が間接照明の中を流れ、靴はサヤ／＼とフロアを踏む——これらが醸し出すホールの雰囲気は確かに近代人の魅惑であり、世界共通の社交的儀禮としてまた常識の一つとして遍く紳士淑女の楽しむ高尚な娯樂である。

わが神戸・阪神國道沿線は品位といひ気分といひ斷然關西に君臨する舞踏王國で現在十一個所に舞踏の殿堂がある。

名	稱	所在地	交通	順路
神戸ソシヤルダンスホール		神戸市三宮町三丁目	市電	元町一丁目、三宮神社前
花隈ダンスホール		神戸市花隈町	同	下山手六丁目、榮町四丁目



寶塚會館

ダイヤクラブダンスホール		神戸市浪速町	同	三宮神社前
キャピトルダンスホール		神戸市三宮町二丁目	同	瀧道三宮神社前
西宮ダンスホール		西宮市森具	阪國電車	西宮西口
西宮會館ガーデンホール		西宮市今津	阪國電車	北今津
尼崎ダンスホール		尼崎市別所村	同	バス玉江橋、阪神電車尼崎
ダンスタイガー		尼崎市杭瀬	同	バス杭瀬
阪神會館ダンスパレス		尼崎市杭瀬	同	東長洲
キングクラブダンスホール		尼崎市杭瀬	同	大物北口
寶塚會館		武庫郡良元村	阪急電車寶塚南口、バスの便あり	

演劇と映畫

三	三	阪	榮	松	湊	多	松	錦	神	聚	新	大	有	東	菊	千	相	二	キ
宮	宮	急		川	川	松	竹	戸	樂	新	地	正	樂	寶	水	代	生	葉	
映	映	會		温	温	竹	聞	劇	劇	ニ	ユ	正	樂	朝	水	之	葉		
畫	畫			泉	泉	劇	劇	座	座	ス	ス	座	座	日	座	座	部		
館	場	館	館	座	場	座	場	座	場	館	館	座	館	場	館	座	館		

同 同 三 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

宮 驛 前

同 同 和 邦 洋 演 邦 演 邦 邦 邦 寄 邦 和 邦 寄 邦 演 洋

同 同 洋 畫 畫 畫 劇 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫 畫

(東寶チェーン封切) (日活封切) (松竹封切) (新興封切)

湊 名 座 稱



神戸湊川新開地

演劇と映畫

演劇と映畫(神戸)

所在地

演興行の種類

景氣のよい橋が入つて××一座がかゝると大向ふから湧くが如き絶讃を浴び、優秀な映畫が封切されるとセカンドラン、サードランと續映されるほど大衆ファンに親しまれて來た娛樂である。

神戸湊川新開地は演劇、寄席、映畫の殿堂櫛比する映畫街として神戸市民にお馴染なところである。

名物とみやげ

阪神會館
三宮キネマ
歌舞伎座
八千代座

元町驛前
三宮町二
同
神戸驛前

ニユース映畫
邦邦畫
邦邦畫
演劇

名物とみやげ品

ローカルカラーたつぷりな「名物とみやげ品」！それは楽しい旅の想ひ出、つきぬ旅の語り草としていつまでも遊覽者に慰樂と思慕の念を與へるものである。

されば遊覽者はその訪れた景勝地の風光に接すると同じ關心をもつて優れた名物みやげ品に憧憬がれ之を購ふに腐心する。こゝに郷土色濃厚な價值あるものをかゝげ愛好賞美の一助とする。



品げやみと物名

觀光地

名物、みやげ品

神戶	瓦煎餅、牛肉味噌漬、銘酒(瓢箪型入)、神戸人形、七生餅、神戸風趣(菓子)、玉すだれ(菓子)、みなど川千代の譽(忠孝菓子)、菊水饅頭、甲南漬、雁次郎飴、青葉の笛羊羹、妙法寺焼、敦盛そば、きんつば、カステラー、そば菓子、六甲スキー餅、ステツキ
西宮	甲子園ランド煎餅、野球ボール煎餅
尼崎	樂焼、ランプ飴、ヒノデ飴、蒲鉾
寶塚	寶煎餅、寶もなか、寶だんご、少女歌劇煎餅、羊羹、彫刻
有馬温泉	有馬筆、有馬竹籠、竹細工、有馬焼、炭酸煎餅、ヒサゴ飴、松茸昆布佃煮、山椒味噌、湯の花
武田尾温泉	炭酸煎餅、ゲレンショウ飴 から皮煮、松茸
明石	丁稚羊羹、分太餅、八房の梅、明石焼、明石籠、動物ガラス玩具、明石鯛、明石漬、鯛田麩、鯛味噌、海藤花、板牡蠣
加古川	鹿古の松波、千口里焼(菓子)
高砂	相生チロリ、尉姥徳利、長命盃、高砂面、高砂人形、松笠人形
瀧野	生鮎、鮎菓子、鮎うるか
姫路	革細工、明珍火箸、玉椿(菓子)、残月、一聲、鶯脚焼、白鷺飴、姫山團子、お菊血煎餅、城煎餅、萬年漆器、姫路張子
龍野	醬油、素麺、モロミ、鮎罐詰、鮎菓子、鮎うるか

名物とみやげ品

名物とみやげ品

相生 ベーロン煎餅、梅の里、海産物
 赤穂 鹽味饅頭、大石饅頭、燒鹽、アサシヲ
 赤穂御崎 赤穂緞通、鯛の濱むし
 生野 鑛石糖、ゴフラン織(ネクタイ)、三樂燒(菓子)
 竹田 櫻饅頭、櫻餅、鮎うるか
 出石 出石燒、出石紋縮緬
 豊岡 柳行李、バスケット、フアイバー靴
 城崎 麥稈細工、桑細工、竹花籠、溫泉染、湯の花、飯櫃
 香住 白鷺、磯みどり、もずく、松葉蟹
 濱坂 縫針、著音機針、白鷺、もずく、竹輪、松葉蟹、洞門若布、蒲鉾
 湯村溫泉 枳餅、枳せんべい、湯の花
 篠山 栗酒、栗納豆、栗羊羹、篠山燒、半月煎餅、竹細工
 柏原 柏原人形、野菜、味噌漬
 淡路 淡路燒、鳴門蜜柑、鳴門漬、鳴門若布、鳴門羊羹、鳴門姿漬、蛸、もずく、胡麻油、素麵(福良)

(終)

昭和十三年四月十二日印刷
昭和十三年四月十七日發行

【非賣品】

兵庫縣

印刷人 田中守一

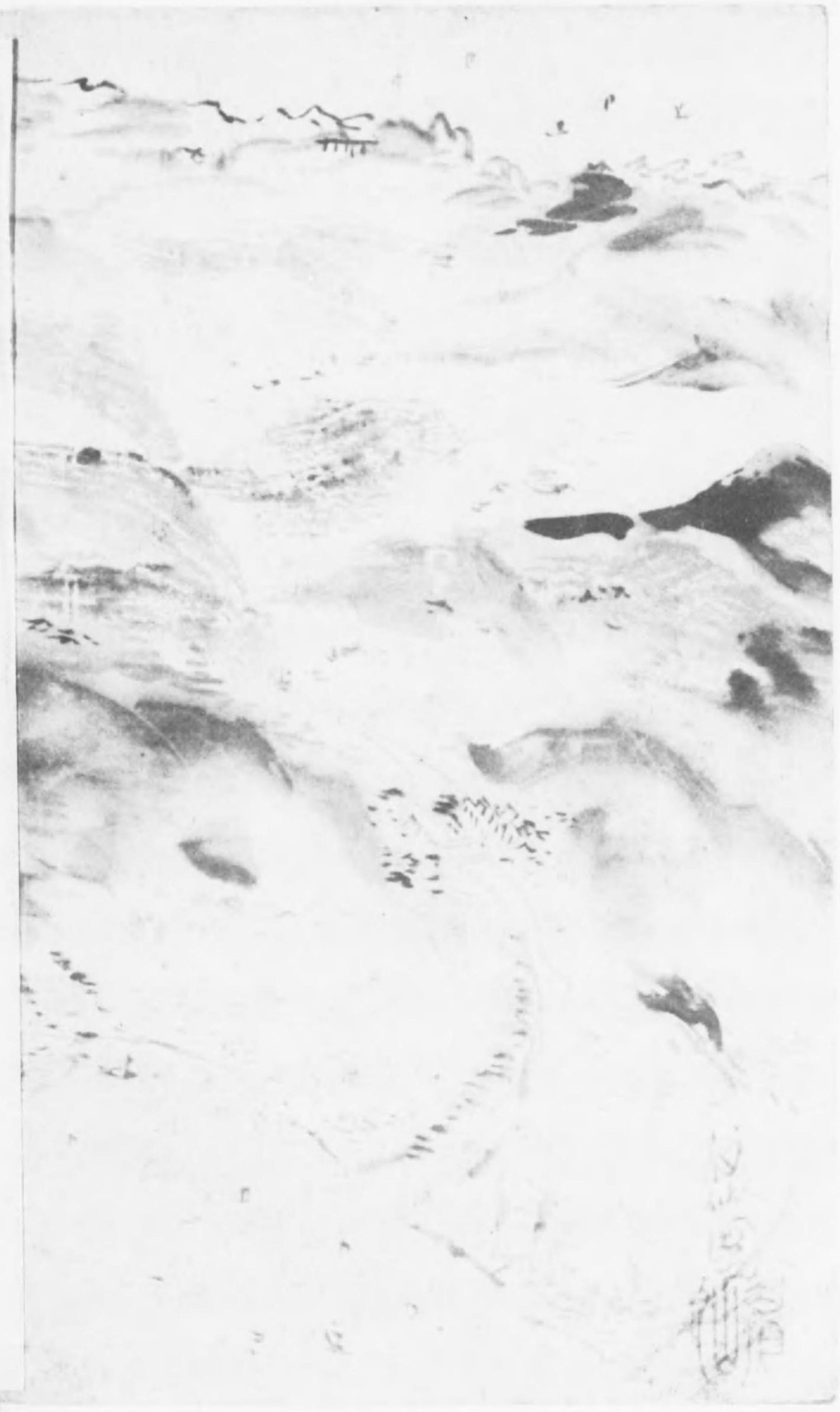
印刷所 田中印刷出版株式會社

14.5

779



14.5
779



終

